ver.001

# 取扱説明書 INSTRUCTION

**カメラ1～4台用**

*RD-4504* [500GB HDD] / *RD-4505* [1000GB HDD] / *RD-4506* [2000GB HDD] / *RD-4507* [4000GB HDD]

**カメラ1～8台用**

*RD-4508* [500GB HDD] / *RD-4509* [1000GB HDD] / *RD-4510* [2000GB HDD] / *RD-4511* [4000GB HDD]

**カメラ1～16台用**

*RD-4516* [500GB HDD] / *RD-4517* [1000GB HDD] / *RD-4518* [2000GB HDD] / *RD-4519* [4000GB HDD]

# H.264圧縮方式デジタルレコーダー

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、後々のために『保証書』とともに大切に保管してください。

## 初期パスワード

## パスワードは設定されていません

**パスワードには何も入力せずに [OK]ボタンを押すとログインできます。**

⚠不正使用を防ぐため、変更することをお勧めします。パスワードの変更はP.26を参照ください。

## 電源の入れ方

**本体に電源スイッチはありません。**
**電源コンセントに電源アダプタをさすと自動的に電源が入ります。**

DVR 機能が正常動作をするためには 10 ～ 15 秒程度起動時間が必要です。起動後は分割画面で映像が表示され、録画設定した内容により録画が開始します。

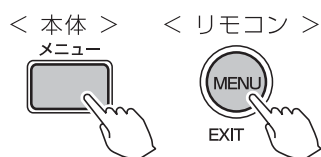
## 電源の切り方

### マウスによる操作方法

画面左下にある MENU を左クリックし、設定メニュー右端の⏻を左クリックします。
その後画面上に「システムは正常に終了しました」と表示された後に、電源ケーブルを抜きます。

### 本体前面ボタン・リモコンによる操作方法

①設定メニューを開きます

< 本体 >　< リモコン >

②右方向キーを押して⏻にカーソルを合わせます

< 本体・リモコン >

③↵を押します
その後画面上に「システムは正常に終了しました」と表示された後に、電源ケーブルを抜きます。

< 本体・リモコン >

## 設定メニューが表示されない　設定メニュー表示の切り替えについて

映像出力はRCA接続(テレビなど)とVGA接続(PC用モニターなど)の2種類あります。
どちらか1つにしか設定メニューが表示されない仕様になっています。
モニターに接続し、設定メニューが表示されない場合は、本体前面にある［全画面/分割］ボタンまたはリモコンの［田］ボタンを長押し(約2秒間)してください。

# 目次

# 安全上のご注意

## 安全のため必ずお守りください

この安全上のご注意は、安全な使いかたを理解していただくため、記号(絵表示)を使って、わかりやすくまとめています。

■ 記号の表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

| | |
|---|---|
|  | この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。 |
|  | この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|  | この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

■ 記号の例

△記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容(左図の場合は注意)が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容(左図の場合はACアダプターの電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

## ⚠警告

■ 煙が出ている、変な音やにおいがするなどの異常状態のまま使用しない

異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。
お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。

■ 電源コードを傷つけない

●付属の電源コード以外は使用しないでください。
●電源コードの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。また、電源コードを無理に折り曲げたり、加工したり、ステープルなどで固定しないでください。

●電源コードが傷んだら、お買い上げ販売店に交換をご依頼ください。

■ 電源プラグやコンセントにほこりなどを付着させない

●ほこりにより、ショートや発熱が起こって火災の原因となります。
●湿度の高い部屋、結露しやすいところ、台所、ほこりがたまりやすい場所のコンセントを使っている場合は、特に注意してください。
●定期的に電源プラグを抜いて、プラグとプラグの間に付着したほこり・よごれを取り除いてください。

■ 電源コード接続時の注意

●電源プラグはコンセントへ確実に接続してください。不完全な接続のまま使用すると、発熱などにより、火災の原因となります。
●電源コードを束ねて使用しないで下さい。発熱などにより、火災の原因となります。
●コンセントつき延長コードをご使用の場合は、接続する機器の消費電力の合計が、延

長コードの定格電力をこえないよう注意してください。火災の原因となります。

■ 電源コード接続時の注意

内部に手を触れると危険なうえ、火災、感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は、お買い上げ販売店または工事店にご依頼ください。

## ⚠警告

■ 内部に異物を入れない

●通風孔などから、金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり落とし込んだりしないでください。火災、感電の原因となります。

●万一異物が内部に入った場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

電源プラグを
コンセントから抜け

■ 接続する機器の上に、水などの入った容器を置かない

万一内部に水などが入った場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

■ ぬらさない

●本機は防水構造になっていませんので、ぬらさないようにご注意ください。火災、感電の原因となります。

風呂場、シャワー室では使用しないでください。

●万一内部に水などが入った場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

■ 雷が鳴り出したら使わない

雷が鳴り出したら使用しないでください。特に接続ケーブルには絶対に触れないでください。感電の原因になります。

■ 不安定な場所に設置しない

●落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。
●万一落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または工事店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

■ 衝撃や振動を与えない

衝撃、振動が加わるとハードディスクが故障して、データが破損する恐れがあります。

## ⚠警告

■ 爆発の危険があるところでは使わない

可燃性ガスおよび爆発性ガスが、大気中に存在するおそれのある場所では、使用しないでください。引火、爆発の原因となります。

■ 電源電圧100V以外の電圧で使用しない

火災、感電の原因となります。

■ 国外では使用しない

使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

## ⚠注意

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらない

必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷ついて、火災、感電の原因となることがあります。

■ ぬれた手で電源プラグをさわらない

感電の原因となることがあります。

■ 上に乗らない

倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

■ コード類は正しく配線する

電源コードや接続ケーブルはじゅうぶん注意して接続、配線してください。足などにケーブルを引っかけると機器の落下や転倒などに

■ 接続する機器の上に重いものを置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、重みによって故障の原因となることがあります。

■ 搬送・持ち運びについて

●通電中は本機の移動は絶対に行なわないでください。
●搬送する場合は、電源プラグをコンセントから抜き、接続ケーブルを外したことを確認して、ご購入時の梱包材料で梱包してください。また、搬送時はできるだけ衝撃や振動の少ない方法で行なってください。また、落下しないようにご注意ください。

# ⚠注意

■ お手入れの際、長期間使用しない場合

電源プラグをコンセントから抜いてください。接続したままお手入れすると、感電の原因となることがあります。

■ 内部の掃除について

内部の掃除については、お買い上げ販売店または工事店にご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災、故障の原因となることがあります。

■ 通風孔や放熱ファンをふさがない

●本機はハードディスクなどによる放熱を換気するために通風孔や放熱ファンを設置しています。
本機にカバーを掛けたり、ケースや本棚などで覆うと内部に熱がこもり、火災や感電の原因となることがあります。
本機をラックに設置する場合は、本機と壁面間などに隙間を開けてください。
●上下間は1cm以上の隙間を開ける
●左右は5cm以上を開ける
●ラック後面と壁面間は10cm以上開ける

■ 急激な温度･湿度変化の場所に置かない

●急激な温度(毎時10℃以上)変化および湿度変化の激しい場所には置かないでください。

■ 設置場所の注意

本機は精密な電子部品で構成しています。次の様な場所での設置は、動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。
●直射日光が当たる場所
●水にぬれやすい場所
●冷暖房器具や加湿器に近い場所
●エアコンなどの冷風が直接当たる場所
●ほこりやちりの多い場所
●火気のある場所
●磁気を持っているものに近い場所
●揮発性物質のある場所
●常に振動のある場所や車や列車など

## 付属の ACアダプターについて

# ⚠危険

■ 分解したり、改造しない

●内部に手を触れると危険なうえ、火災、感電の原因となります。
●直流電源器として使用しないでください。

■ 電源電圧100V以外の電圧で使用しない

火災、感電の原因となります。

■ ぬらさない

●水につけたり、ぬらしたりしないでください。火災、感電の原因となります。
●風呂場、シャワー室等では使用しないでください。
●万一内部に水などが入った場合は、コンセントから抜いて、お買い上げ販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

水ぬれ禁止

# ⚠警告

■ 付属の ACアダプター以外は使用しない

付属の ACアダプターをご使用ください。他の ACアダプターを使用するとコードの電流容量などの違いにより火災、感電の原因となります。

■ 他の機器に接続しない

感電の原因となることがあります。

■ 本機を幼児やお子様の手の届く範囲、またはペットの行動範囲内に接続しない

誤って ACアダプターのコードを首に巻きつけ、窒息を起こす原因となります。

■ 国外では使用しない

使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

■ ぬれた手で ACアダプターをさわらない

感電の原因となります。

## 付属の ACアダプターについて

# ⚠警告

■ 煙が出ている、変な音やにおいがするときは、すぐに ACアダプターをコンセントから抜く

●異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。
●異常状態になった場合は、すぐに ACアダプターをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げ販売店にご連絡ください。お客さまによる修理は危険ですから、絶対におやめください。

■ 雷が鳴り出したら使わない

雷が鳴り出したら、ACアダプターには絶対に触れないでください。感電の原因となります。

■ ACアダプターとコンセントの注意

●コンセントにゆるみやガタ付がある場合は接続しない
●ACアダプターはコンセントへ根元まで確実に接続する
●ACアダプターの差込み部が傷んでいる場合は使用しない
不完全な接続のまま使用すると、発熱などにより、火災や感電の原因になります。
●ACアダプターをコンセントから抜くときは、無理に引っ張らない
差込み部やコードが傷み、火災や感電の原因になります。
●ACアダプターをコンセントに差し込んだまま、本機の DC入力端子から DCプラグを抜いた状態にしない
ぬれた手で触ったり、口に入れたりすると感電の原因になります。
●ACアダプターとコンセントの接触部に、ほこりなどを付着させない
ほこりなどにより、ショートや発熱が起こり火災の原因になります。
特に、湿度の高い部屋や結露しやすいところ、台所やほこりの溜まりやすい場所でのコンセントは注意してください。
ほこりの清掃
ACアダプターをコンセントから抜いて、金属部に付着したほこり、汚れを乾いた布で取り除いてください。
●コンセント付き延長コードを使用する場合は、接続する機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えないこと
定格電力を超えると火災の原因になります。

# ⚠注意

■ コード類は正しく接続する

ACアダプターのコードや接続ケーブルはじゅうぶん注意して配線してください。
足などにコード類を引っかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。

■ コードを傷つけない

ACアダプターのコードの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。
また、コードを折り曲げたり、加工したり、ステープルなどで固定しないでください。

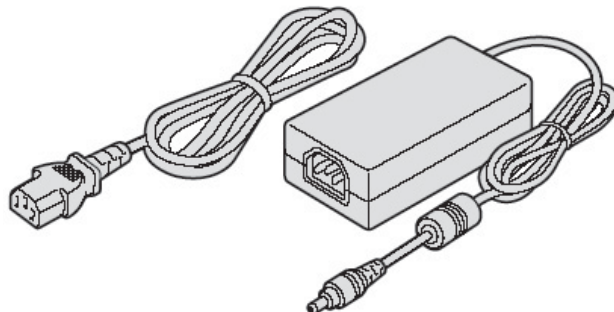
■ 不安定な場所に置かない

●落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。
●万一落としたり、キャビネットを破損した場合は、お買い上げ販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

■ 使用場所の注意

発熱体（ストーブの前面）や直射日光が当たるところで、使用しないでください。

# ⚠警告

付属の電源アダプターは本機専用です。他の機器には使用しないでください。

# 正しくご使用いただくために必ずお守りください

## ■ 本機のお手入れ

電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて柔らかい布で汚れを軽くふき取ってください。

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたし、よく絞ってからふき取ってください。そして、仕上げは乾いた布でふいてください。

**ご注意**

- ●お手入れの際、ベンジン･シンナーは使用しないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- ●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ●本体に殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。
  変質したり、塗料がはげるなどの原因になります。

## ■ 録画内容は事前に確認してください

本機もしくは接続機器などの不具合などより、録画や再生ができない場合がありますので、必ず事前に録画を行ない、正常に再生されることを確認してください。録画内容などについての保証はできません。
万一の故障や事故による映像の破損を防ぐためにも、定期的にバックアップをお勧めします。

## ■ 長時間使用しないとき

電源プラグをコンセントから抜いてください。ただし機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

## ■ 個人情報の保護について

カメラシステムを使用して撮影する人物･その他の映像で個人を特定できるものは個人情報となります。個人情報の取扱いはシステムを運用する方の責務となりますのでご注意ください。

# ⚠警告

ハードディスクは精密機器ですので、衝撃を与えないよう丁寧な取り扱いをお願いします。
放熱穴をふさいだりしないようにしてください。
機器内部の温度が上昇しますと、ハードディスクの寿命が短くなります。

### ■ 通電中は絶対に衝撃や振動を与えたり、移動させない

ラックなどの出し入れ時も必ず電源は切ってください。

### ■ 録画中、再生中にコンセントを抜くときは必ず“停止”してから抜いてください。

### ■ 電源を切ってから約30秒間は動かさない

電源を切っても、しばらくの間はハードディスクは回転しています。この間は通電中よりもさらに衝撃や振動に弱い状態ですので、絶対に動かさないようにしてください。

### ■ 衝撃や振動を与えない

本機を床などには置かないでください。

### ■ 搬送時は必ず購入時の梱包材を使用すること

本機ならびに単品のハードディスクなどを搬送する場合は、ご購入の際の梱包材料で梱包してください。また、搬送時はできるだけ振動の少ない方法で行なってください。

ハードディスクの交換については、お買い上げの販売店にご相談ください。

- ●梱包していないハードディスクは、基板面を上にして柔らかい物の上に水平に置いてください。ハードディスクに衝撃や振動が加わると故障することがあります。
- ●ハードディスクの交換時には、ネジの締め付けや取り外しによる衝撃や振動を与えないでようにしてください。

**電源の入れ方**

**本体に電源スイッチはありません。**
**電源コンセントに電源アダプタをさすと自動的に電源が入ります。**
DVR 機能が正常動作をするためには 10 ～ 15 秒程度起動時間が必要です。起動後は分割画面で映像が表示され、録画設定した内容により録画が開始します。

**電源の切り方**

**本製品には電源スイッチはありません。**
**電源を切るためには設定メニュー右端の（システム終了ボタン ⏻ ）を押して、「システムは正常に終了しました」と表示された後に、電源ケーブルを抜きます。**

# 主な特徴

●H.264圧縮方式による長時間記録
●分割画面でも動画でモニター可能
●スマートフォンでの遠隔監視が可能
●音声記録対応
●USBメモリへのデータバックアップ
●本機をネットワーク経由でパソコンから操作可能
●最大4TBまで増設可能
●VGA映像出力
●リモコンとDVRユーティリティーソフトウエア付属

# 主要部品の交換時期

本機を周囲温度25℃の環境下で連続してご使用した場合は、使用環境により部品が摩耗したり劣化します。本機の性能を維持させるために、下記部品の年数を目安に交換をお勧めします。交換年数は目安であり、部品の性能を保証するものではありません。

■ ハードディスク
使用環境により寿命は異なりますが、ヘッドやモーターが磨耗劣化する部品です。通電時間が2年を超えることより、書き込みエラーなどが発生しやすくなります。

■ 放熱ファン（ファン機能が付いている機種）
ファンが正常に動作しなくなると、内部温度が上昇し、ハードディスクが不具合となる原因になります。時々、放熱ファンが正常に動作しているか（止まっていたり異音がしていないか）を確認してください。

■ 電池（バックアップリチウムバッテリー）
2年（周囲温度25℃）

# 付属品

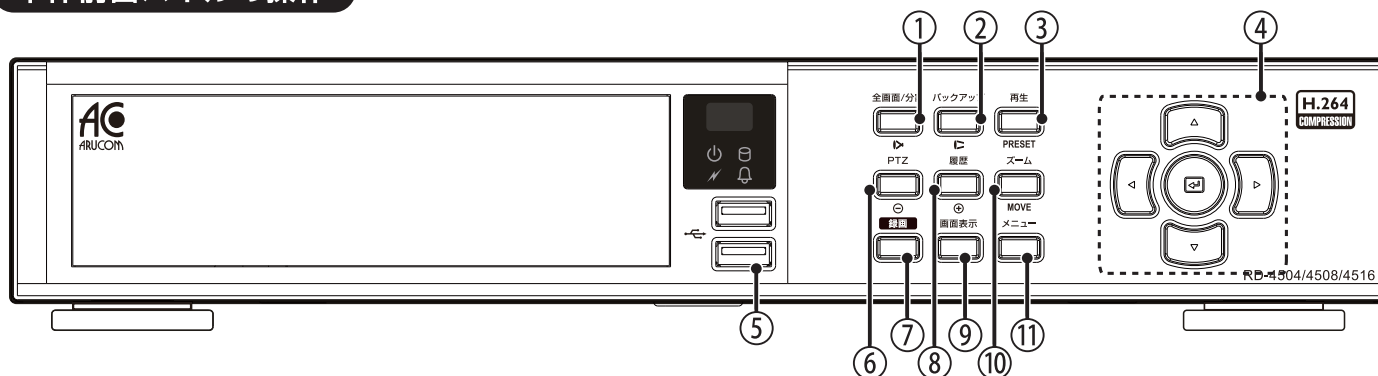
次の部品が入っているかをご確認ください。

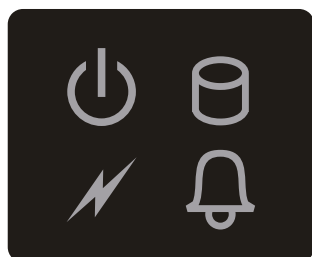
①電源アダプター
②マウス
③リモコン
④CD（遠隔監視ソフト・バックアップ映像再生）
⑤BNC変換プラグ
⑥取扱説明書（本書）
⑦音声入力用ケーブル（8CH・16CHのみ付属）
⑧ループ出力用ケーブル（8CH・16CHのみ付属）

① ※実物と形状が異なる場合があります
② ※実物と形状が異なる場合があります
⑤ 4CHには5個、8CHには9個、16CHには17個付属しています
⑦ ※8.16CHのみ付属しています
⑧ ※8.16CHのみ付属しています

# 各部の名称とはたらき

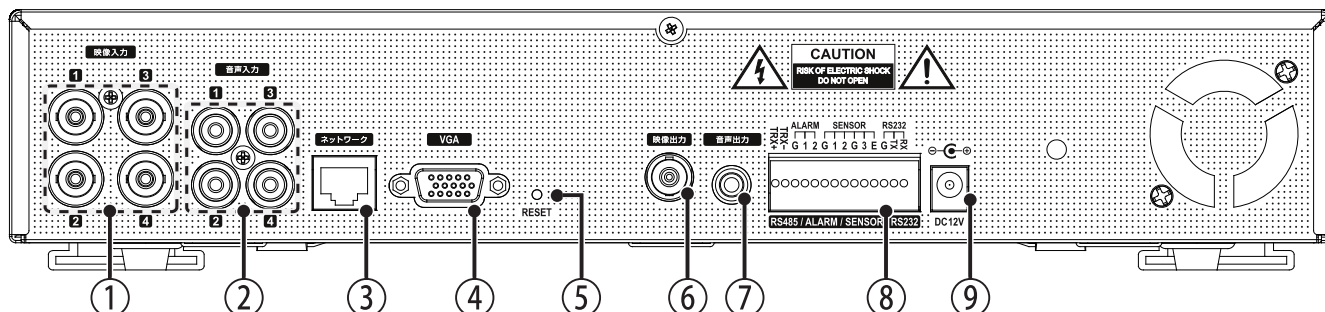
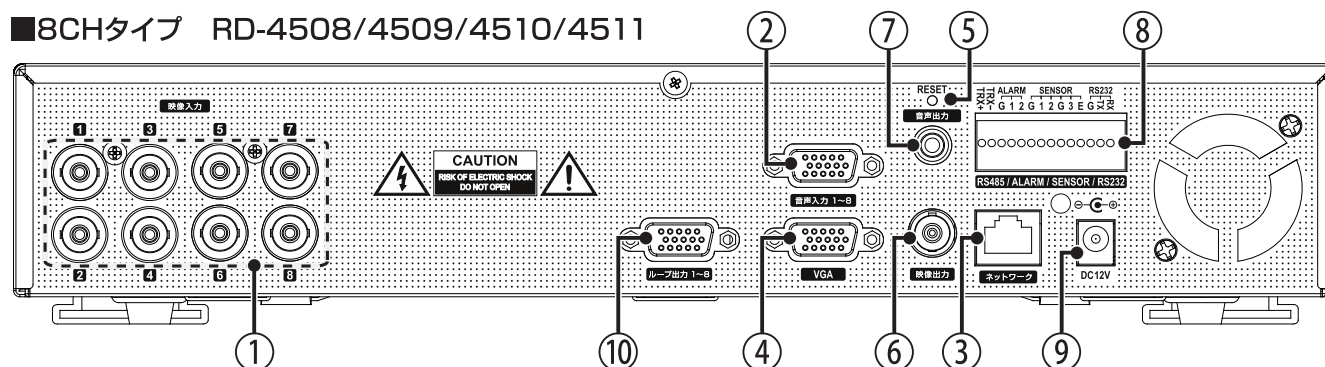
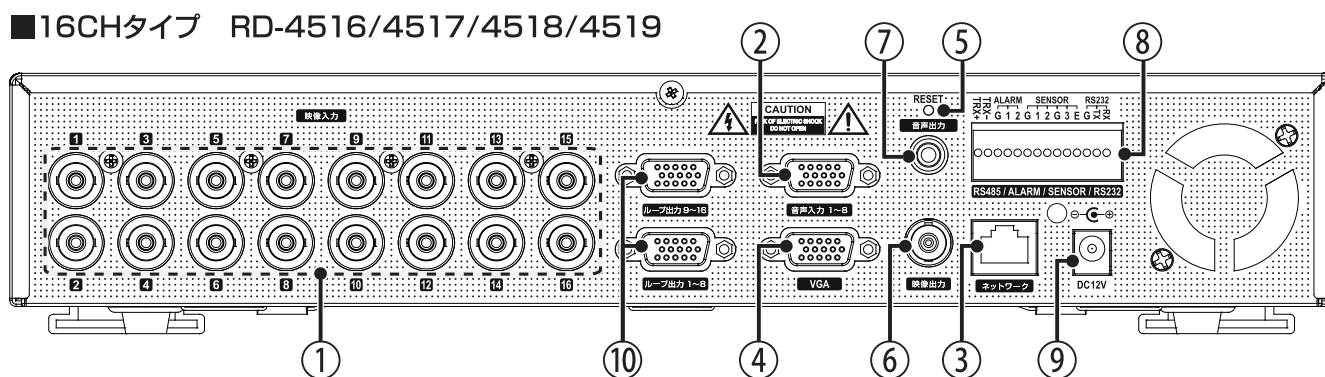
本機には電源スイッチはありません。

## 本体前面パネルの操作

| | | |
|---|---|---|
| ① | 全画面/分割 | 画面表示を切り替えます(全画面・4分割・6分割・8分割・9分割・13分割・16分割)※型番によって異なります |
| ② | バックアップ | 録画映像をバックアップ(保存)します / PTZ操作時:値を下げます |
| ③ | 再生 | 通常時:再生モードに切り替わります |
| ④ | カーソル上方向 | 設定時:カーソルを上に移動します / 通常時:表示CH切替 / 再生時:一時停止 |
| | カーソル下方向 | 設定時:カーソルを下に移動します / 通常時:表示CH切替 / 再生時:一時停止 |
| | カーソル左方向 | 設定時:カーソルを左に移動します / 通常時:表示CH切替 / 再生時:再生(押す度に速度×2～32) |
| | カーソル右方向 | 設定時:カーソルを右に移動します / 通常時:表示CH切替 / 再生時:逆再生(押す度に速度×2～32) |
| | 中央ボタン | 設定時:設定した項目を決定します / 通常時:ポップアップメニューの表示 |
| ⑤ | USBコネクタ | USBメモリ・マウスを接続します |
| ⑥ | PTZ | PTZモードに切り替わります |
| ⑦ | 録画ボタン | 手動で録画を開始します(もう一度押すと録画を停止します) |
| ⑧ | 履歴 | 操作・設定を行った履歴とイベントリストを表示します(イベントリストから再生もできます) |
| ⑨ | 画面表示 | 画面表示を切り替えます(表示無し・年月日のみ・年月日+メニュー) |
| ⑩ | ズーム | 監視映像・再生映像を拡大します(×2、×4、×8) ※1画面表示時のみ |
| ⑪ | メニュー | 設定時:キャンセル・1つ前の項目に戻る / 通常時:メニュー設定表示・非表示 / 再生時: 再生メニューの表示 |

## 前面パネルのランプ説明

| | |
|---|---|
| | 電源が入るとランプが青色に点灯します。 |
| | HDDへのアクセス時に点滅します。 |
| | ネットワーク接続時に点滅します。 |
| | アラーム警告発生時にオレンジ色に点灯します。 |

# 各部の名称とはたらき

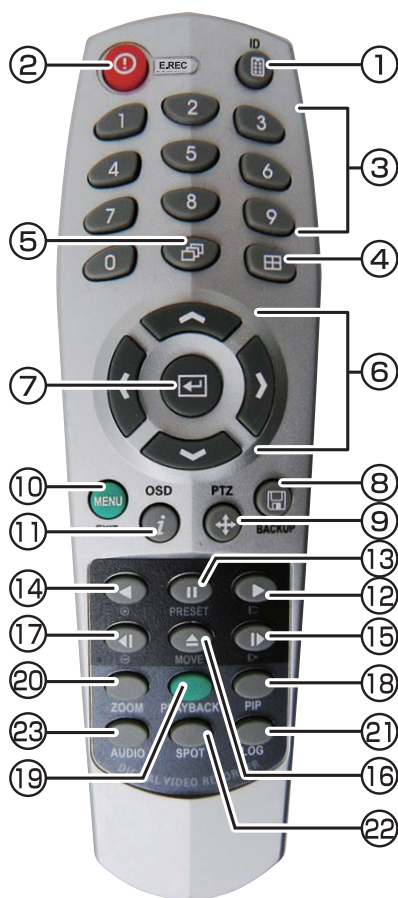
## 背面パネル

■4CHタイプ　RD-4504/4505/4506/4507

| | | |
|---|---|---|
| ① | 映像入力端子（BNC） | カメラを接続します |
| ② | 音声入力端子（RCA） | 音声マイクを接続します |
| ③ | ネットワーク端子（LAN） | 遠隔監視を目的としてLANケーブルを接続します |
| ④ | 映像出力端子（VGA） | PCモニター等に映像を出力します（VGA出力） |
| ⑤ | RESET端子 | 長押しで初期工場出荷時の設定にリセットします |
| ⑥ | 映像出力端子（BNC） | テレビ等に映像を出力します（コンポジット出力） |

| | | |
|---|---|---|
| ⑦ | 音声出力端子（RCA） | スピーカー等を接続します（RCA） |
| ⑧ | RS-485<br>ALARM<br>SENSOR<br>RS-232C | RS-485…PTZカメラ、コントローラーの制御線を接続します。<br>ALARM…アラームを出力する機器（パトライトや警報機等）を接続します。<br>SENSOR…センサー入力(3つ)、1つは緊急録画用として使用できます。<br>RS-232C…ATM機器、または POS機器に連結してテキスト連動機能として使用します。 |
| ⑨ | DC12V | 付属の電源アダプタを接続します |
| ⑩ | ループ出力 | 映像をループ出力します |
| | | |

※8CH・16CHは音声入力、ループ出力の際、付属のケーブルを使用します。

# リモコンの各部の名称とはたらき

## リモコンの操作

| | | |
|---|---|---|
| ① | (ID) | 同DVRを2機種以上、同リモコンで操作を切り替える際に使用します。※通常使用しません |
| ② | (E.REC) | ボタンを押すと設定に関係なく録画を開始します。(もう一度押すと録画を停止します。) |
| ③ | 数字ボタン | 監視あるいは再生モードで数字ボタンを押すと選択された数字のカメラが全体画面表示になります。パスワード入力時の数字ボタンとしても使用します。 |
| ④ | | 監視画面･再生画面でボタンを押すごとに、分割画面表示を切り換えます。 |
| ⑤ | | 監視画面を1画面ずつ自動で切り換え表示します。 |
| ⑥ | 上、下、左、右ボタン | 設定中のカーソル移動や PTZ モードで上、下、左、右にカメラを動かします。 |
| ⑦ | | ポップアップメニューの表示や選択項目を確定するボタンとして使用します。 |
| ⑧ | (BACKUP) | バックアップメニューを表示します。 |
| ⑨ | (PTZ) | 監視画面からPTZモードに変更します。 |
| ⑩ | MENU (EXIT) | 設定メニューを表示します。設定中は1つ上の階層に戻ります。 |
| ⑪ | i (OSD) | OSD(オンスクリーン表示)の表示、非表示を切り換えます。 |
| ⑫ | ▶ ( ) | 再生/PTZ モードでフォーカスの調整(遠い距離)ができます。 |
| ⑬ | ❚❚ (PRESET) | 一時停止/PTZ モードでPTZプリセットを保存する画面が表示されます。 |
| ⑭ | ◀ (⊖) | 逆方向再生/PTZ モードでズームインできます。 |
| ⑮ | ❚▶ ( ) | コマ送り/PTZ モードでフォーカスの調整(近い距離)ができます。 |
| ⑯ | ⏏ (MOVE) | PTZ モードでPTZプリセットを呼び出す画面が表示されます。 |
| ⑰ | ◀❚ (⊕) | コマ戻し/PTZ モードでズームアウトできます。 |
| ⑱ | PIP | 監視画面でPIPスクリーンモードに変更します。(1画面表示時) |
| ⑲ | PLAYBACK | 監視モードから再生モード画面に切り換えます。 |
| ⑳ | ZOOM | 監視･再生画面を2、4、8倍ズームできます。(1画面表示時) |
| ㉑ | LOG | 操作･設定を行った履歴とイベントリストを表示します(イベントリストから再生もできます) |
| ㉒ | SPOT | スポット出力するカメラを選択します。 |
| ㉓ | AUDIO | 監視及び再生モードの音声出力のON/OFFなどを選択します。 |

## マウスの操作

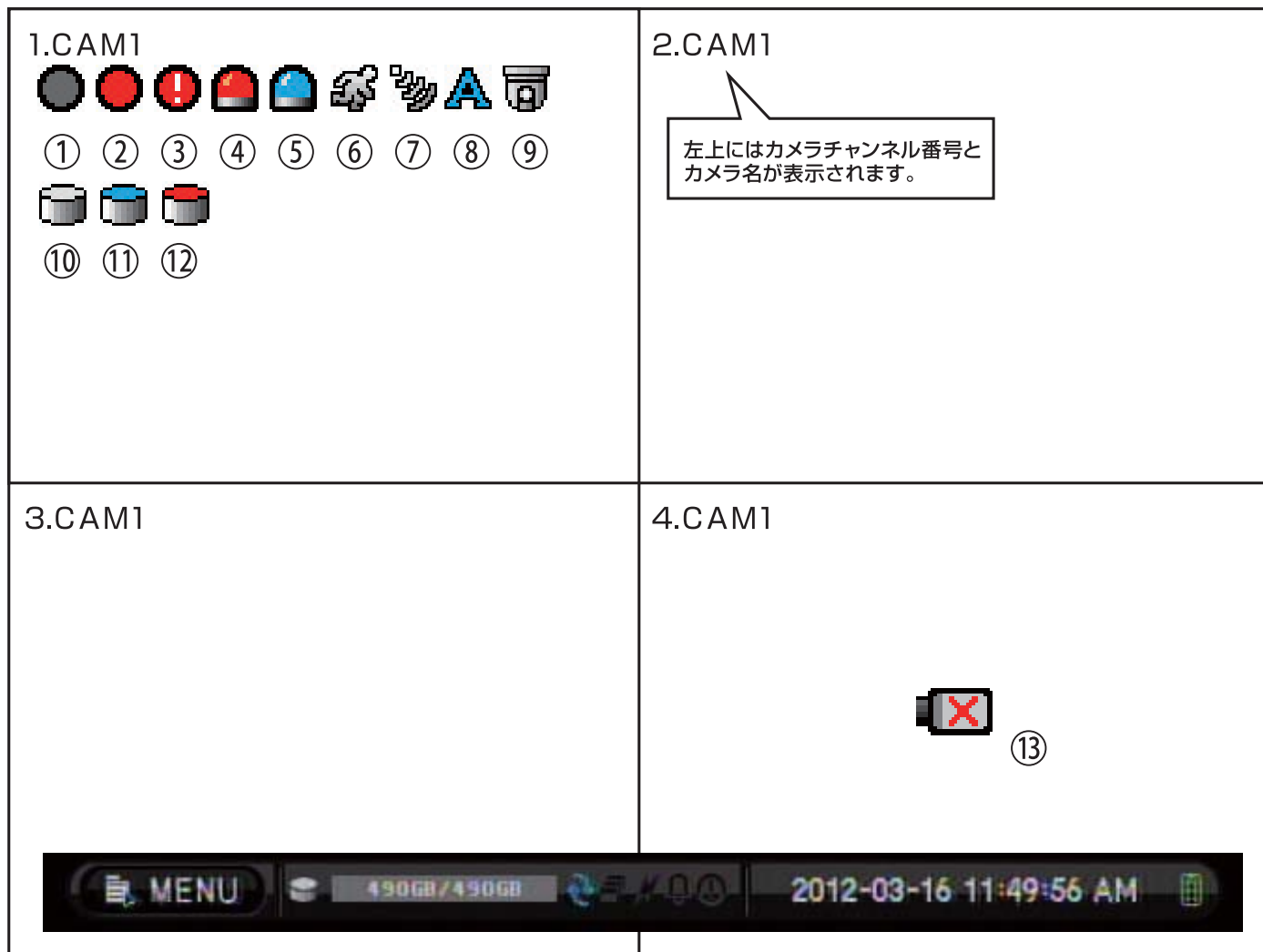
**左クリック**

メニューアイコン表示中や設定項目を選択します。
【 (決定)】ボタンと同じ役割をします。
監視時に、ダブルクリックすると、全画面･分割画面の切替ができます。

**右クリック**

通常画面でクリックすると簡易(ポップアップ)メニューを表示します。
再生モード時は再生用メニューを表示します。

# 現在の映像(ライブ画面)の説明

DVRが正常に作動を始めると映像が表示されます。

**画面上アイコン** 【監視映像の画面上に表示されます。】

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ① | | 録画していない時に表示（灰色） | ⑧ | | POS連動機能等でのテキスト入力時に表示 |
| ② | | 録画中に表示(赤色) | ⑨ | | PTZカメラ接続時に表示 |
| ③ | | E.REC（緊急録画)中に表示(赤色) | ⑩ | | 簡易バックアップ動作中に表示（灰色） |
| ④ | | イベント録画中に表示(赤色) | ⑪ | | クリップ作成動作中に表示(水色) |
| ⑤ | | プリイベント録画中に表示(水色) | ⑫ | | バックアップ動作中に表示(赤色) |
| ⑥ | | モーション感知時に表示 | ⑬ | | 映像入力が無い(ビデオロス)場合に表示 |
| ⑦ | | センサー感知時に表示 | | | |

# 現在の映像(ライブ画面)の説明

## ステータスバーアイコン

【画面下部に状態バー（下図参照）が表示されます。】

ステータスバー

MENU 99% 2012-09-04 11:47:53 AM

| | |
|---|---|
| MENU | マウスでクリックして、設定メニューに入るためのボタンです。 |
| 99% | ハードディスク使用量を表わします。（９９%表示でバーの色が全て灰色になっている場合は、HDDの上書きが始まっています。） |
| | ハードディスクが上書きモード時、水色に点灯します。 |
| | シーケンシャル画面モード（画面表示自動切換）時、白色に点灯します。 |
| | ネットワークで接続時、緑色に点灯します。 |
| | アラーム警告発生時、オレンジ色に点灯します。 |
| | アーカイブモード時、点灯します。 |
| | E.REC（緊急録画）モード動作時、オレンジ色に点灯します。 |
| 2012-04-03 07:31:32 PM | 現在の日付と時間が表示されています。 |
| | リモコン使用を表わします。緑色の場合リモコンが使用できます。 |

# 設定メニューについて

MENU（MENUボタン）を押して表示される設定メニューは、下図の通り左から、システム、デバイス、ディスプレイ、録画、ネットワーク、イベント の6個で構成されており、それぞれのメニューには詳細な設定ができるサブメニューがあります。マウス、リモートコントローラー、前面ボタンを使って各メニューの設定を行うことができます。

注意：メニュー設定後には、ログアウトをして、管理者以外の人や侵入者がDVR設定をむやみに変更できないようにしておきましょう。

システム

デバイス

ディスプレイ

録画

ネットワーク

イベント

ログアウト　終了

| メニュー | サブメニュー |
|---|---|
| システム | 情報 |
| | 日付・時間 |
| | ユーザー |
| | 簡易設定 |
| | システムログ |
| デバイス | カメラ |
| | 音声 |
| | アラーム |
| | コントローラー |
| | RS232 ＆ RS485 |
| ディスプレイ | 表示 |
| | VGA |
| | CVBS |
| | デジタルサイネージ |

| メニュー | サブメニュー |
|---|---|
| 録画 | 記録装置 |
| | 録画 |
| | 録画ツール |
| ネットワーク | アドレス |
| | ダイナミックDNS |
| | 遠隔通知 |
| | 映像配信 |
| イベント | センサー |
| | モーション |
| | ビデオロス |
| | テキスト |
| | システム |
| ログアウト | |
| 終了 | |

# ポップアップメニューについて

マウスの右クリックまたはリモコンやDVR前面の↵(ENTER) ボタンを押すと、下記のポップアップメニューが表示されます。

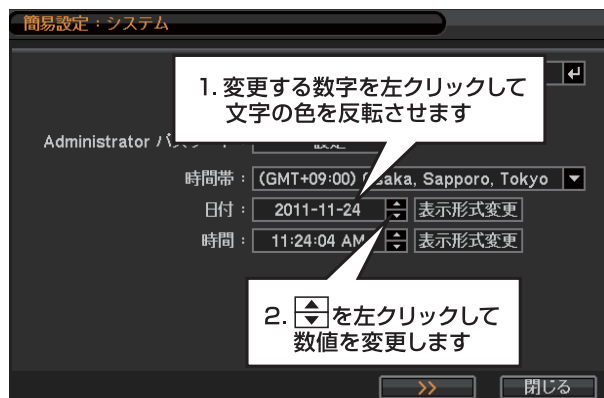
| | |
|---|---|
| デジタルサイネージ | 専用ソフトで作成した画像や動画を表示します。 |
| カメラ | 表示するカメラを選択します。 |
| 表示レイアウト | 画面の分割表示を指定します。 |
| OSD | オンスクリーン表示のオプション選択をします。 |
| フリーズ | 監視映像画面を停止させます。 |
| 表示 | シーケンシャル表示の選択。 |
| 音声 | ライブ時の音声 ON/OFF、出力するチャンネルを選択します。 |
| PTZ | PTZカメラモードメニューへ切換え。 |
| バックアップ | バックアップメニューを表示します。 詳細はP.57を参照ください。 |
| 再生 | 再生メニューを表示します。 詳細はP.52を参照ください。 |
| 遠隔 | ネットワーク経由で他のDVRのライブ監視、再生を行います。 |
| 緊急録画 | 緊急録画を開始します。もう一度選択すると停止します。 |
| ログ | システムイベントログの表示。 |
| 表示フォーカス動作 | 設定メニューの表示を切り替えます（RCA/VGA切替）。 |
| メニュー設定 | 設定メニューを表示します。 |

# 入力種類･方法について

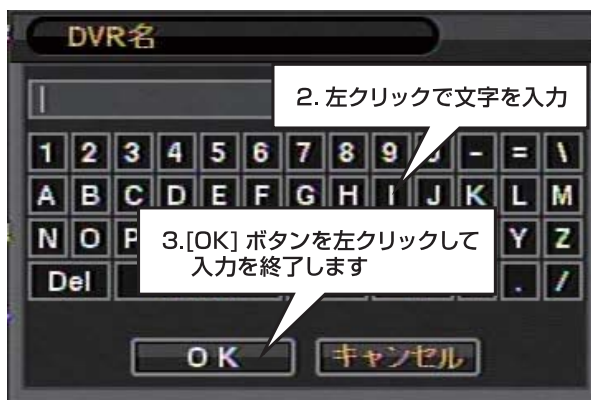
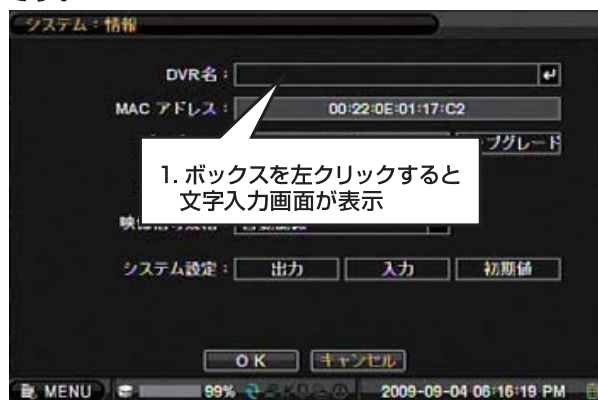
数値を入力する場合、前面パネル、リモコン、マウスでの入力方法が選べます。

## マウスによる操作方法

### ■ 数値の変更

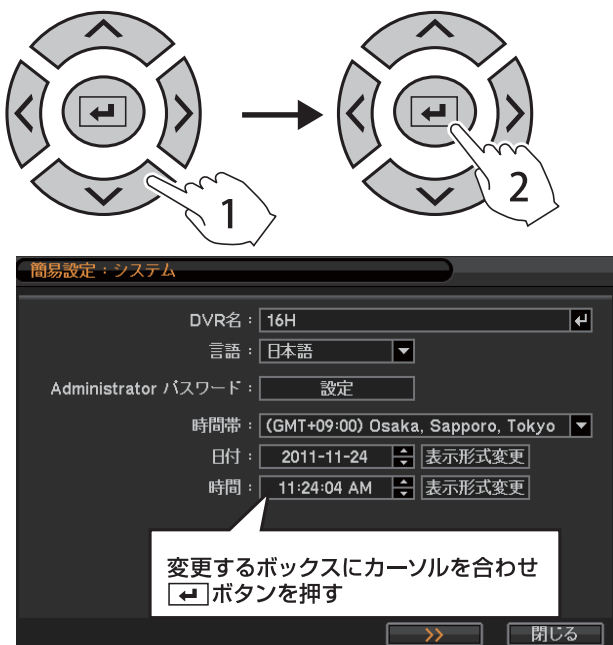
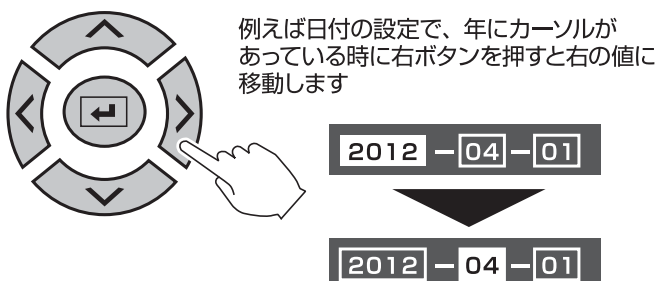
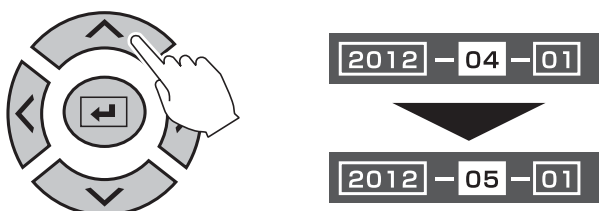
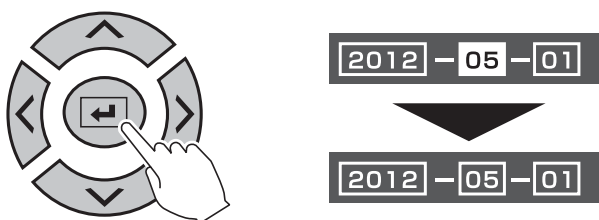
変更する数値またはボックスを左クリックすると色が反転するので、その状態で数値右側にある [ ⇕ ] を押して数値を変更します

変更後は、カーソルを別のボックス上に移動すると、選択が解除されます。

### ■ 文字の入力

文字入力項目を左クリックすると、文字入力画面が表示されるので、左クリックで1文字づつ選択していきます。最後に [OK] ボタンを左クリックして完了です。

# 入力種類•方法について

## 本体前面ボタン・リモコンによる操作方法

### ■ 数値の変更

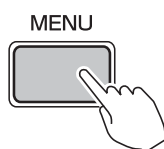
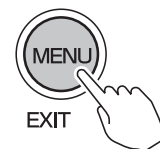
1 上下ボタンを押して、変更するボックスにカーソルを合わせ、[↵]ボタンを押して編集状態にします

2 複数項目の場合、左右ボタンで変更する値を選択します

3 上下ボタンを押して数値を変更します

3 [↵]ボタンを押して数値変更を終了します

### ■ 文字の入力

1 文字入力項目で[↵]ボタンを押すと文字入力画面が表示されます

2 上下左右ボタンで文字を選択し、[↵]ボタンで入力します

3 最後に [OK] ボタンにカーソルを合わせた状態で[↵]ボタンを押して入力を終了します

### 設定や入力のキャンセル方法について

設定画面時に「MENU(EXIT)」ボタンを押すと1つ前の画面に戻ります。文字入力中に押すと入力がキャンセルされます

# 入力種類•方法について

## ● キーボードウインドウの入力について

数値入力同様、キーボードウインドウ文字入力も 1 文字ずつ入力します。1 文字ずつ左クリックで入力します。
リモコンの場合は入力する文字に十字ボタンで移動して、“決定”ボタンで入力されます（1 文字ずつ入力）。
全ての入力が終わったら［↵］アイコンを左クリックしてください。リモコンの場合は十字ボタンで［↵］アイコンに移動して“決定”ボタンを押してください。

○キーボード入力時のアイコン説明

Del ※使用しません

SPACE 空白を挿入します

← 入力した文字を消去

⇧ 大文字・数字/小文字・記号の切替

# パスワードの入力について

何らかの操作を行うと、上のようなログイン画面が表示される場合があります。ID項目に管理者(Administrator)または使用者(User)や登録済みのユーザーを選択してパスワードを入力してください。パスワードは0-9の数字の組合(最大8桁)で、初期工場出荷時にはパスワードが指定されていないため、入力せずにOKボタンを押せば、ログインできます。パスワードの変更や新規ユーザーの登録は(メニュー>システム>ユーザー)設定から行えます。※詳細はP.26を参照ください。
また機器を操作しないまま、一定の時間が過ぎれば自動でログアウトさせる設定もできます。自動ログアウト時間の設定も(メニュー>システム>ユーザー)で設定できます。※詳細はP.26を参照ください。なお、すでにログインしている場合は、上図のログイン画面は表示されません。

## ■ ログアウトについて

メニュー設定後にはログアウトをして、管理者以外の人や侵入者がDVR設定をむやみに変更できないようにしておきましょう。

## ログアウト方法

### マウスによる操作方法

画面左下にある MENU を左クリックし、設定メニュー右端の鍵マークを左クリックします。
画面上に「ログアウトしてもよいですか ?」と表示されるので、[ はい ] を左クリックします。

### 本体前面ボタン・リモコンによる操作方法

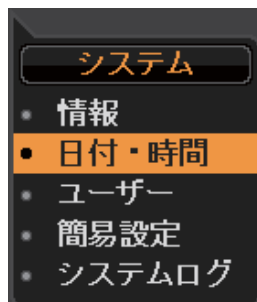
①設定メニューを開きます

②右方向キーを押して鍵にカーソルを合わせます

③↵を押します

④「ログアウトしてもよいですか?」の[はい]を選択し↵を押します。

# 日付•時刻の変更

日時の設定を行います。
※出荷時に設定しておりますので時間がずれていなければ設定の必要はございません

## 1. メニュー設定画面を開く

MENU を左クリックして “システム”→“日付・時間” を左クリックします。
本体・リモコン操作の場合は MENU ボタンを押して、メインメニューから
システム内の日付・時間を選択し、 ボタンで選択してください。

## 2. 数値を変更します

システム設定画面が表示されたら、“日付 / 時間” の数値を左クリックしてください。本体・リモコン操作の場合は十字ボタンの “上下左右” で変更する数値に移動して “上下” ボタンで数値を変更します。
※変更後は  ボタンを押します。

## 3.OK ボタンを押して終了します

変更を完了したら最後に “OK” ボタンを左クリックします。
本体・リモコン操作の場合は十字ボタンの “上下” ボタンで “OK” ボタンに移動して  ボタンを押します。

# 画面表示の切り替え

## 1.全画面表示

画面を右クリックしてポップアップメニュー >カメラ> 全画面で表示するカメラ番号を左クリックすると全画面表示になります。リモコン操作の場合は ボタンを押して全画面表示に変更し、上下ボタンで表示するカメラを選択します。
本体操作の場合は 全画面/分割 ボタンを押して全画面表示に変更し、上下ボタンで表示するカメラを選択します。

## 2.分割表示

画面を右クリックしてポップアップメニュー >表示レイアウト> 希望する分割表示を左クリックすると表示が変わります。
枠内に表示させるカメラの変更は、画面を右クリックしてポップアップメニュー >表示レイアウト>[ 次へ ][ 前へ ] を左クリックして変更します。
リモコン操作の場合は ボタンを押して希望する分割表示に変更します。枠内に表示するカメラの変更は上下ボタンで行います。
本体操作の場合は 全画面/分割 ボタンを押して希望する分割表示に変更します。枠内に表示するカメラの変更は上下ボタンで行います。

## 3.自動切替え（シーケンス）表示と停止

画面を右クリックしてポップアップメニュー >表示> シーケンスを左クリックすると自動切換え表示になります。終了する場合はもう一度画面を右クリックしてポップアップメニュー >表示> シーケンスを左クリックします。
リモコン操作の場合は ボタンを押すと自動切換え表示になります。終了する場合はもう一度 ボタンを押します。
本体操作の場合は ボタンを押してポップアップメニューを表示し、上下左右ボタンで表示 > シーケンスを選択した状態で ボタンを押すと自動切換え表示になります。終了する場合はもう一度同じ操作を行います。

## 4.PIP表示（子画面表示）

※事前に全画面表示にし、メイン表示したいカメラの映像を表示しておきます。
画面を右クリックしてポップアップメニュー >表示> PIP を左クリックするとカメラを選択する画面が表示されるので、子画面に表示したいカメラ番号を左クリックすると開始します。終了する場合はすばやく 2 度左クリックします ( ダブルクリック )。
リモコン操作の場合は PIP ボタンを押すとカメラを選択する画面が表示されるので、子画面に表示したいカメラ番号を上下ボタンで選択し ボタンで選択します。終了する場合は上下ボタンを押します。
本体操作の場合は ボタンを押してポップアップメニューを表示し、上下左右ボタンで表示 > PIP を選択した状態で ボタンを押すとカメラを選択する画面が表示されるので、子画面に表示したいカメラ番号を上下ボタンで選択し ボタンで選択します。終了する場合は上下左右ボタンを押すと終了します。

## 5.ズーム表示

※事前に全画面表示にし、メイン表示したいカメラの映像を表示しておきます。
画面を右クリックしてポップアップメニュー >表示> ズームを左クリックするとズームの倍率を選択する画面が表示されるので、希望する倍率を左クリックすると開始します。終了する場合はすばやく 2 度左クリックします ( ダブルクリック )。
リモコン操作の場合は ZOOM ボタンを押すとズームの倍率を選択する画面が表示されるので、希望する倍率を上下ボタンで選択し ボタンで選択します。終了する場合は上下ボタンを押します。
本体操作の場合は ボタンを押してポップアップメニューを表示し、上下左右ボタンで表示>ズームを選択した状態で ボタンを押すとズームの倍率を選択する画面が表示されるので、希望する倍率を上下ボタンで選択し ボタンで選択します。
終了する場合は上下左右ボタンを押すと終了します。

# 録画について

本機には、「緊急録画」「スケジュール録画」「モーション検知録画」「センサー検知録画」の4録画モードがあります。
それぞれのモードは組み合わせて設定することも可能です。
録画に必要な解像度、フレームレート、画質の詳細設定は“1.録画の詳細設定”（P.36）を参考に設定してください。

■ **緊急録画・・・** 監視中の映像を手動で録画します。

■ **スケジュール録画・・・** 指定された日時に録画します。（P.37）

■ **モーション検知録画・・・** 画面の設定されたエリアに動きがあるときに録画します。（P.44）

■ **センサー検知録画・・・** 外付けのセンサーなどが反応したときに録画します。（P.42）

**MEMO: 工場出荷時は“全ての曜日”“全ての時間”“全てのカメラ”を上書きしながら連続して録画する設定になっています**

# 再生について

本機には、「時間指定」「カレンダー検索再生」「イベント検索再生」「テキストイン検索再生」の 4 再生モードがあります。

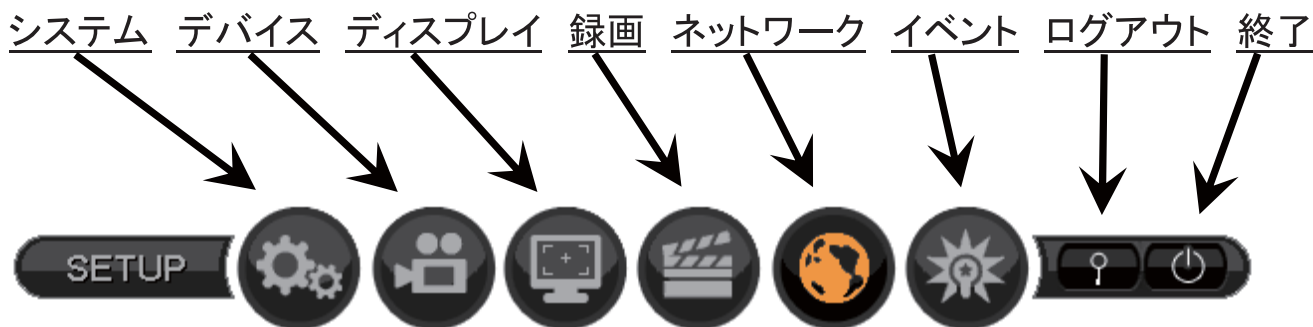
■ **時間指定再生・・・** 再生する時間を指定して再生を行います。（P.53）

■ **カレンダー検索再生・・・** カレンダーから検索して再生します。（P.54）

■ **イベント検索再生・・・** イベントから検索して再生します。（P.55）

■ **テキストイン検索再生・・・** POSシステム等との連動テキストリストから再生します。
日時･キーワード検索が可能。（P.56）

# 設定メニューの詳細 システム

リモコンまたは前面パネルのMENUボタンかマウスで MENU をクリックするとＤＶＲの設定メニューが表示されます。

## 2-1.システム

システムメニューはシステムの情報、日付&時間、ユーザー、簡易設定、システム履歴の設定や表示ができます。

**2-1-1. MENU ＞ システム ＞ 情報**

情報

情報には DVR名、MACアドレス(製品によりすべて異なる番号が設定されており変更できません)、現在のシステムバージョン/アップグレード、リモコンのID、映像信号タイプ、設定値のエクスポート/インポート/初期化 機能があります。DVR名の右側↵を押せば、上図右の仮想キーボードが表示されDVR名を入力することができます。

本製品のファームウェアをアップグレードするためにはUSBフラッシュメモリにアップグレードするファームウェアを保存して、DVRに差し込んだ後、「アップグレード」ボタンを押せば自動でアップグレード作業が始まります。アップグレードに要する時間はおおよそ5分間で、アップグレードが終了すればDVRは自動で再起動されます。

注意：アップグレード中には絶対にDVRの電源を切ったり、USBフラッシュメモリを抜かないようにお願いします。正常にアップグレード出来なかった場合、起動不良等の致命的な障害が発生する恐れがあります。

**リモコンID**

リモコンIDを変更して同機種のDVRをそれぞれ制御することができます。リモコンIDが"0"ならば、リモコンを使う時リモコンIDを選択する必要はありません。リモコンID"0"は初期設定値です。リモコンIDを変更したDVRを操作する場合は、操作する前にリモコン右上のIDボタンを押して、DVR画面に表示されるID番号に合わせてから使用します。

# 設定メニューの詳細 システム

## 映像信号規格

カメラ映像の形式を設定します。自動認識の場合、DVRが起動時に入力された映像形式(NTSC/PAL)を自動で認識します。なお、日本国内で使用するカメラは通常NTSC形式なので、PAL形式には変更しないで下さい。

## システム設定

この設定メニューで設定した値の保存や呼び出しを行うことができます。

出力： USBフラッシュメモリに設定値を保存します。
出力： USBフラッシュメモリから保存したある設定値を読み込みます
初期値：初期工場設定値を適応します。

注意：インポートを実行しても、[システム]の項目（簡易設定した内容は除く）と[ネットワーク]の項目の内容は変わりません。また、初期値を実行しても、[ネットワークのアドレス]の設定内容は変わりません。

### 2-1-2. MENU ＞ システム ＞ 日付・時間

日付・時間

標準時間帯の右側のボタンを押して、[ (GMT+09：00) Osaka,Sapporo,Tokyo]を選択します。サマータイム設定を使う場合にはチェックをしますが、日本国内では使用しません。日付/時間項目でボタンを操作して日付と時間を合わせます。 また、フォーマットボタンを押して日付と時間の表示形式を変更することができます。

NTP

'NTPを使用する'を選択すれば、DVRと時刻同期サーバー(NTPサーバー)で時刻同期が行えます。
↵ボタンを押せば仮想キーボードが出てＮＴＰサーバーのアドレスまたはドメイン名を入力することができます。
アップデートボタンを押せば登録したサーバーとの時刻同期を行います。
例： ntp.nict.jp など

注意：ネットワーク伝送速度が遅かったり障害がある場合やNTPサーバーなどへのアクセス制限がされている場合など時間同期が行えない場合があります。

休日

休日メニューで休日の設定ができます。
[+] ボタンを押して追加し[÷] で設定することができます。
[X] ボタンで設定した日付を消すことができます。
休日で設定した日程は、録画スケジュールやアラームスケジュールの設定を行うことにより反映されます。
※最大50件まで登録できます。

## 2-1-2. MENU ＞ システム ＞ ユーザー

ユーザーメニューでDVRを使用するユーザーの登録やパスワードの変更をすることができます。

オートログイン：　システムの再起動後に、自動でログインする設定ができます
自動ログアウト：　設定した時間後に、自動でログオフする設定ができます。

[+] ボタンを押せば新しいユーザーを登録することができます。 [X]ボタンを押せば登録したユーザーを削除することができます。　ただし、ユーザー名Administrator と Userは、削除できませんがパスワードの変更は行えます。　[+]ボタンを押せば、上図右の新使用者登録画面が表示されます。

使用者名　：　登録するユーザー名を入力します。

グループ　：　グループを選択することができます。（あらかじめグループを登録しておきます）

パスワード　：　パスワードの設定をします。

登録したユーザーやそのユーザーのグループをクリックするとパスワード等の変更画面が表示されます。

注意：本製品出荷時には、AdministratorとUserのパスワードは設定されていません。

# 設定メニューの詳細 システム

グループ

グループメニューでグループの登録やグループの権限を設定することができます。
[+]ボタンを押して新しいグループを登録することができます。[X]ボタンを押せばグループを削除することができます。[+]ボタンを押せば、上図右の新グループ登録画面が表示されます。
なお、グループ名Administrator と User の削除とグループの権限は変更できません。

### 2-1-3. MENU ＞ システム ＞ 簡易設定

簡易設定

時刻の設定

ネットワーク設定

ポート設定

録画設定（解像度,画質,フレーム数の設定）

HDDの初期化

### 2-1-5. MENU ＞ システム ＞ システムログ

システムログではシステムログを見ることができます。

日付・時間

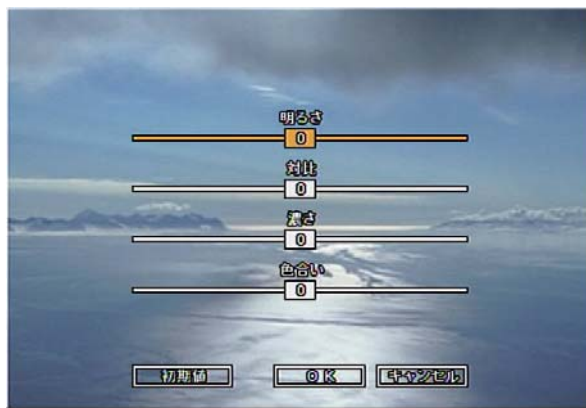
[再読込]ボタンを押せばログリストを最新に更新します。[<] [>]ボタンを使って前後のページに移動します。 [出力] ボタンを押せばUSBフラッシュメモリにCSV形式で保存することができます。

注意：パソコンに読み込んだ時に文字化け等が発生した場合、メモ帳で読み込み、それを保存したもので再度確認してみてください。

# 設定メニューの詳細 デバイス

## 2-2-1. MENU ＞ デバイス ＞ カメラ

デバイスメニューは、カメラ 、 音声 、 アラーム 、 コントローラー 、 RS232&485(テキストイン/システムキーボード)を設定することができます。

カメラ

カメラ番号の右をチェックすれば、そのカメラの使用が可能になり、チェックを外せば使用できなくなります。 カメラ名の↵を押せばカメラ名を変更することができます。
また、各項目右側の[設定]を押せば、上図右のように各チャンネル映像の明るさなどを調節することができます。

PTZ

PTZ設定ではPTZ(パン、チルト、ズーム)カメラに対する設定(プロトコルとカメラIDなど)を行います。
操作は、リモコンのPTZボタンやDVRのENTERボタンまたはマウスの右ボタンをクリックして表示されるポップアップメニューのPTZ メニューを選択すると制御画面が表示されます。　マウスで画面上の矢印やアイコンまたは、リモコンやＤＶＲの前面ボタンを使って PTZを制御することができます。

以下は、マウスで操作する場合の操作画面になります。

| | ズームアウト | | フォーカス（far） |
|---|---|---|---|
| | ズームイン | | プリセット位置保存 |
| | フォーカス（near） | | プリセット位置呼び出し |

PTZ操作画面でPTZリモコンやＤＶＲのMENUボタンやマウスの右ボタンを押すと、PTZメニューが表示されます。使用されるPTZカメラの種類により使えるメニュー（オートパン、ツアー、パターン、メニュー、ホームポジション）が異なりますが、表示されていてもサポートされていない機能もありますのでご注意ください。
PTZ操作画面から監視画面に戻るには、PTZ終了を選びます。

# 設定メニューの詳細 デバイス

マスク

マスク設定では監視条件の設定が可能です。
マスク設定すると監視映像には表示されなくなります。
マスク設定では日付/時間によるカメラ別スケジュール指定が可能です。
設定した時間になると、監視、再生、遠隔接続時にそのカメラの映像は見えなくなります。
※Administratorグループのユーザーがログインしている時だけ、設定が一時解除され映像が見えます。

守秘モード1：該当カメラの映像は表示されないが、OSDは表示されます。
守秘モード2：該当カメラの映像とＯＳＤの両方とも表示されません。

注意：マスク設定は録画には影響しません。

## 2-2-2. MENU ＞ デバイス ＞ 音声

音声

音声では各音声チャンネルのON/OFFと音声名[初期値：AUDIO1～]の変更、対応カメラチャンネルの登録ができます。

例）
AUDIO4にチェックを入れ、カメラが14～16に設定した場合、14～16のカメラをフルスクリーン表示した時、音声入力4に接続されたマイクの音を聞くことができます。

## 2-2-3. MENU ＞ デバイス ＞ アラーム

アラーム

アラーム接続では、５秒から最大10分までのアラーム保持時間を設定することができます。
また、形式では接続するアラーム機器のタイプ(NO,NC)を選択ができます。

NO：　ノーマルオープン
NC：　ノーマルクローズ

# 設定メニューの詳細 デバイス

スケジュール

スケジュールではアラーム動作のスケジュールを設定することができます。曜日、時間帯、モード（イベント,常時On,常時Off）、アラーム(そのスケジュールで動作させるアラームやブザー)の設定を行います。なお、下図右はアラーム設定の画面です。

[+] ボタンを押してスケジュールを登録することができます。[X] ボタンを押せばスケジュールを削除することができます。

### 2-2-4. MENU ＞ デバイス ＞ コントローラー

コントローラー

DVR対応のコントローラーを接続する場合は、ボタンを押して表示されるリストでキーボードコントローラーを選択します。

TB-CN3R1 / TH-ZCT01 / STT-CN3R1 / SC3100 N-Control / ISD-Control / VT-KBD1 / GSPから選択可能です。

### 2-2-5. MENU ＞ デバイス ＞ RS232&485

RS-232 & RS-485

[▼] ボタンを押してRS-232CならびにRS-485ポートのプロトコル設定等が行えます。

RS232： PTZ キーボード またはPOS連動等のテキストイン機能の設定を行います。

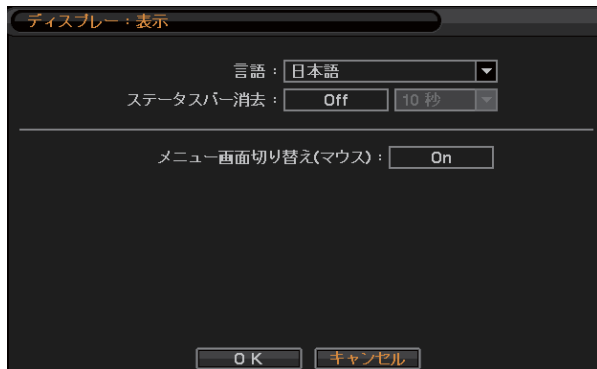
RS485： PTZ キーボード またはPOS連動等のテキストイン機能の設定を行います。

# 設定メニューの詳細 ディスプレー

## 2-3. MENU ＞ ディスプレー

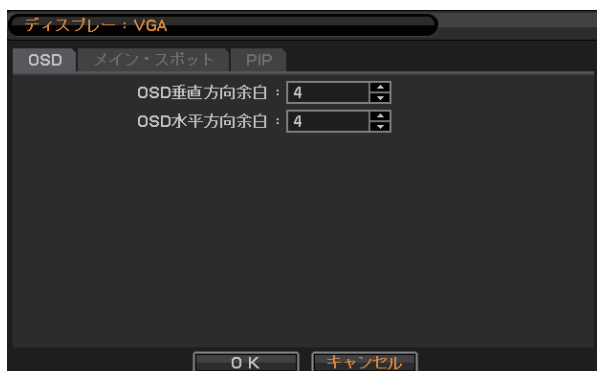
画面表示メニューで画面表示設定、表示レイアウト、VGA、PIP 機能を設定することができます。

### 2-3-1. MENU ＞ ディスプレー ＞ 表示

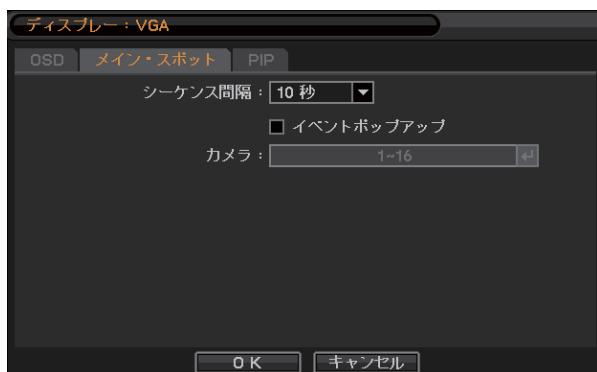
表示

言語：▼を押して日本語を選択します。

ステータスバー消去： ステータスバーの 表示/非表示を選択し、非表示(On)を選択した場合は、設定時間が経過するとステータスバーが消え、現在日時だけの表示になります。ただしマウスでクリックするか、何か操作を行うと表示されます。
メニュー画面切り替え(マウス): マウスの二つのボタンを同時にクリックして、VGAとCVBSモニターの制御画面の転換ができ、その機能の使用可否を選択します。

### 2-3-2. MENU ＞ ディスプレー ＞ VGA

OSD

OSD垂直方向余白：ボタンで、OSD 間隔(垂直位置)の調節をすることができます。ブラウン管モニターを使用する場合に、左端の表示が切れる場合などの時に使用します。

OSD水平方向余白：ボタンで、OSD 間隔(平方位置)の調節をすることができます。ブラウン管モニターを使用する場合に、左端の表示が切れる場合などの時に使用します。

メイン・スポット

シーケンス間隔：メイン画面でのシーケンシャル表示の切り替わり時間を設定します。
1秒～最大1分まで設定できます。

イベントポップアップ：あらかじめ設定されたイベントが発生した時、スポット画面でカメラ映像がポップアップ表示します。

# 設定メニューの詳細 ディスプレー

PIP

PIP：（1画面の中の子画面設定)メニューで PIPの 大きさと位置を選択することができます。

## 2-3-5. MENU ＞ ディスプレー ＞ CVBS

OSD

OSD垂直方向余白：ボタンで、OSD 間隔(垂直位置)の調節をすることができます。ブラウン管モニターを使用する場合に、左端の表示が切れる場合などの時に使用します。

OSD水平方向余白：ボタンで、OSD 間隔(平方位置)の調節をすることができます。ブラウン管モニターを使用する場合に、左端の表示が切れる場合などの時に使用します。

メイン・スポット

シーケンス間隔 ： メイン画面でのシーケンシャル表示の切り替わり時間を設定します。
1秒～最大1分まで設定できます。

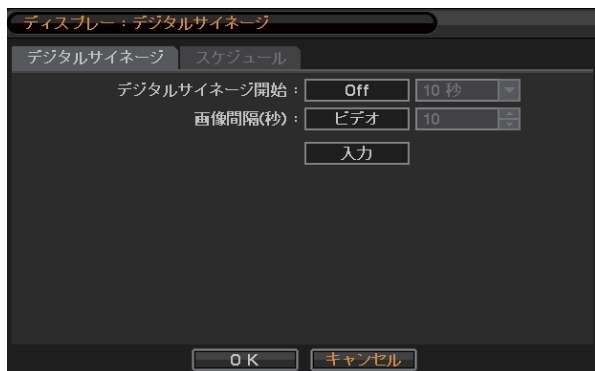
イベントポップアップ ： あらかじめ設定されたイベントが発生した時、スポット画面でカメラ映像がポップアップ表示します。

PIP

PIP (1画面の中の子画面設定)メニューで PIPの大きさと位置を選択することができます。

# 設定メニューの詳細 ディスプレー

## 2-3-6. MENU ＞ ディスプレー ＞ デジタルサイネージ

### デジタルサイネージ

デジタルサイネージ機能はVGA及びCVBSモニターに動画や画像を設定したスケジュールで表示する機能です。

デジタルサイネージ開始: 開始時間を設定します。

画像間隙(秒): ビデオまたはイメージを選択します。イメージ選択時は切替間隔を秒単位で設定します。

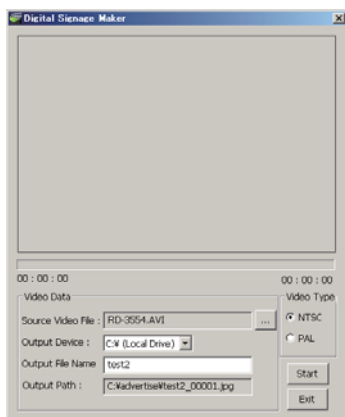
入力: USBメモリーから本体にデータを取り込みます。
　デジタルサイネージに使用する動画及びイメージは付属CD内、
　[tools]フォルダ内にあるDigitalSignageMakerで作成します。

### スケジュール

スケジュール: デジタル広告機能の再生時間スケジュール設定及び追加、削除が出来ます。

## デジタルサイネージ作成用ソフトのインストールと使用方法

1. 付属 CD 内、[tools] フォルダ内にある DigitalSignageMaker_Setup_Ver 数字 .exe をダブルクリックしてインストールを行います。

2. インストールしたソフトを起動し、ファイルを作成します。

Source Video File： ... をクリックして、変換する動画または画像を選択します。

Output Device：ファイルの保存先を選択します。

Output File Name：ファイルに名前をつけます

Output Path：作成・保存される場所へのパスが表示されます。

Video Type：必ず NTSC を選択します。

Start：ファイルを作成します。

Exit：ソフトを終了します。

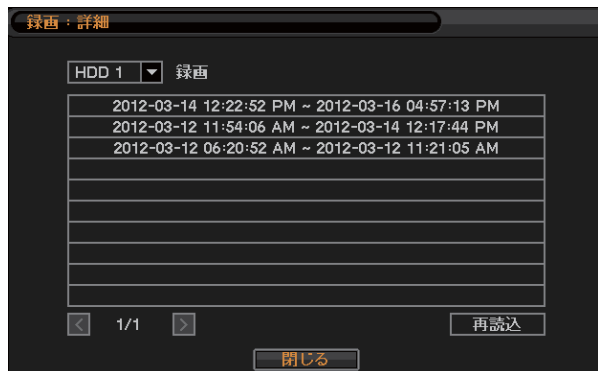
3. 作成されたフォルダごと USB メモリーにコピーし、DVR に接続してデータを取り込みます。
　※フォルダ名は自動で [advertise] で作成されます。　例）C:\advertise

# 設定メニューの詳細 録画

## 2-4. MENU ＞ 録画

録画メニューで記録装置、 記録、 録画ツールの設定や表示ができます。

### 2-4-1. MENU ＞ 録画 ＞ 記録装置

情報

情報ではHDDの容量/形式/用途/ステータス（状態）の情報が表示されます。

フォーマット ： フォーマットを押すとハードディスクの選択画面が表示されます。ハードディスクを選択してフォーマットボタンを押せば該当のハードディスクをフォーマットします。

記録： ハードディスクに保存されている期間が表示されます。 再確認を押せば最新情報が表示されます。

S.M.A.R.T

S.M.A.R.T メニューでは記録装置の状態情報が表示されます。アップデートを押せば最新情報が表示されます。 アラーム発報の温度設定は、イベント -> システム 内のS.M.A.R.T限界温度で行います。

注意: 製品の不具合によりメインボードを交換した場合、若しくは、同じ仕様のDVRで使用したHDDを装着した場合、HDDに録画されたデータをそのまま、維持して、録画を続けます。

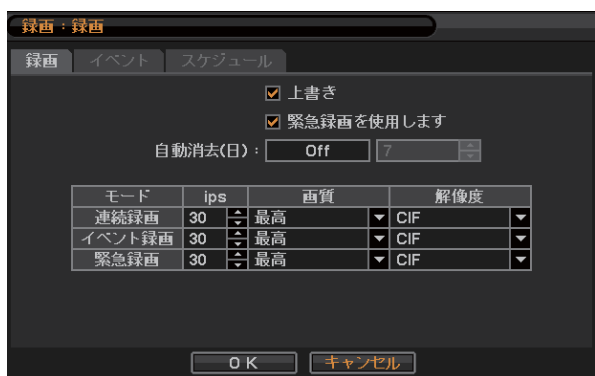
# 設定メニューの詳細 録画

メインボードを交換すると、記録装置メニューに「実行」ボタンが表示されます。このボタンをクリックして、指示に従い再起動をします。

注意: 同じ仕様の製品で使用したHDDを装着する場合、他のHDDは一旦、取り外した状態で、装着した後に実行してください。

### 2-4-2. MENU ＞ 録画 ＞ 録画

録画メニューで記録装置、記録、録画ツールの設定や表示ができます。

録 画

記録はハードディスクへの上書き保存、音声録音、解像度、映像の自動削除、録画フレーム、画質を設定することができます。

注意：個々の録画フレームや画質、連続やイベント録画などの設定は、全て ‘スケジュール’の画面で行います。

上書き：チェックを入れるとハードディスクの記録領域が一杯になった場合一番古い録画映像から上書きします。チェックを外すと上書きしない設定になるため、HDDが一杯になると録画を停止します。

緊急録画を使用します:チェックを入れると本体またはリモコンの緊急録画ボタンを押すと録画を開始します。
チェックを外すと緊急録画ボタンを押しても録画を開始しません。

自動消去(日)：自動消去を ‘On’にすると、設定された日数より古いデータは自動で削除されます。（通常は‘Off’にして、上書き設定をしておきます。）

IPS：1秒間あたりのコマ数を表します。再生画像を動画でご覧いただくには「10」以上に設定されることをお勧め致します。

画質：[最高][高][標準][中]から選択します。

解像度：録画解像度を設定します。D1（720×480）、Half D1（720×240）、CIF（360×240）の3種類から選択します。※解像度 高 D1> Half D1 >CIF 低

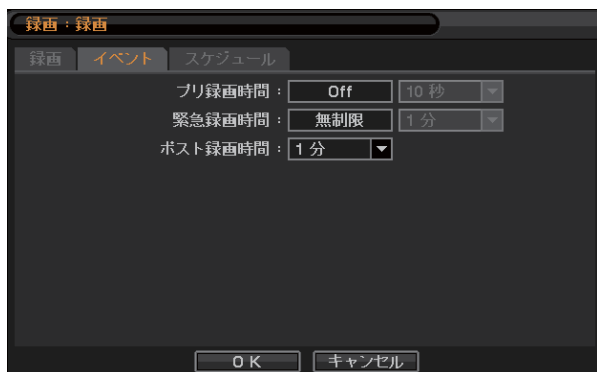
連続録画：連続録画時の録画フレームと画質、解像度を設定します。

イベント録画：イベント録画時の録画フレームと画質、解像度を設定します。

緊急録画：緊急録画時の録画フレームと画質、解像度を設定します。

注意：連続/イベント/緊急 の録画フレーム数と画質は、スケジュールの中で設定する初期設定値としての登録値です。スケジュールで録画フレーム数や画質を設定しますが、スケジュールでの設定値が優先されます。

# 設定メニューの詳細 録画

## イベント

イベントメニューではイベント発生前、緊急録画、イベント録画持続時間を設定します。

プリ録画時間：イベント発生前の映像を設定した時間にさかのぼって保存します。イベント前録画は30秒まで可能です。
※設定が[Off]の場合、時間の選択ができません。[On]にしてから時間を設定します。

緊急録画時間：緊急録画ボタンが押されて30分まで緊急録画を持続することができます。'無制限'を設定すると、再度緊急録画ボタンが押されるまで緊急録画状態が続きます。
※設定が[無制限]の場合、時間の選択ができません。[制限]にしてから時間を設定します。

ポスト録画時間：30分までイベント後の録画を持続させる設定を行うことができます。

## スケジュール

スケジュールでは、録画のスケジュールを設定することができます。曜日、時間帯、モード（録画しない,連続録画(T)，イベント録画(E)，連続+イベント録画(TE)）、カメラ、 設定(フレーム数/画質)によりカメラ単位で詳細な録画スケジュールの設定が行えます。
[+] ボタンを押してスケジュールを登録することができます。[X] ボタンを押せばスケジュールを削除することができます。
設定を押せば、上図右のips(フレーム)数と画質を設定する画面が表示されます。ips数はカメラ1台あたりの最大録画フレーム数の設定です。スケジュールでたとえばカメラ1～16と設定した場合、全てのカメラの録画フレーム数が30で設定されます。ただし、解像度を'D1'と設定している場合、本製品の仕様としてD1の録画フレーム数は、最大120フレーム/秒なので、各カメラの録画フレーム数は、30と指定しても、実際は7～8フレーム/秒になります。ただし、解像度D1などでモーション録画を行っている場合などで、1番と3番のカメラがモーションイベントで録画を行っていて、2番と4番のカメラが録画を行っていない場合は、設定した30フレームを、1番と3番で分け合って、それぞれのカメラが最大15フレーム/秒での録画が行われます。

初期設定値に戻す： チェックすれば MENU > 録画 > 録画 > 録画で設定したフレーム数が表示されます。

## 2-4-2. MENU ＞ 録画 ＞ 録画ツール

### 録画ステータス

録画ステータスメニューでは動作中の録画フレーム数、画質、オーディオ使用有無がリアルタイムに表示され、設定した内容で録画機能が働いているかを確認することができます。

再読込を押すと最新の情報に更新されます。

### HDD容量

HDD容量では装着されたハードディスク容量での録画可能期間及び録画使用量を計算することができます。
解像度と録画フレームを入力して、計算を押せば設置されたハードディスクの容量に合わせておおよその録画可能期間を計算します。

1日使用平均、予測の使用日数及び時間(全体HDD容量)

注意：実際の録画可能日数を保証するものではありません。録画する映像により録画できる日数は変動します。

# 設定メニューの詳細 ネットワーク

## 2-5. MENU ＞ ネットワーク

ネットワークメニューでネットワークIP、DDNS設定、遠隔通知、映像転送に関する設定ができます。

**ホームページにあるネットワーク設定の手順も合わせて参考にしてください**

**http://www.arucom.ne.jp/4504**

### 2-5-1. MENU ＞ ネットワーク ＞ アドレス

アドレス

アドレスメニューでは、IPアドレスの形式、 IPアドレス、 サブネットマスク、 ゲートウェイ、 DNSサーバーを設定することができます。

形式： 固定または DHCP 形式を設定することができます。

IP アドレス：IP アドレスを⊟ボタンを使って入力します。

サブネットマスク：サブネットマスクを⊟ボタンを使って入力します。

ゲートウェイ： ゲートウェイアドレスを　ボタンを使って入力します。

DNSサーバー： DNS サーバーアドレスを　ボタンを使って入力します。

ID: ADSL(PPPoE)を使用する場合、ISPに登録したIDを入力します。

パスワード: ADSL(PPPoE)を使用する場合、ISPに登録したパスワードを入力します。

ポート

ポートメニューでは、外部システムに接続するためのポートナンバーを設定します。

ネットワークポート：Nemonに接続するための基本ポートを設定します。

RTSP ポート： Android OSへの転送のために設定するポートです。

UPnP: UPnPを使用すれば、ネットワークのPortを自動に探って、設定してくれます。

基本ポートは、10101～10104ですが、15,000～32,000までの連続した3つのポートナンバーに変更することができます。　また、Web接続用のポートも変更することができます。

注意: RTSP ポートはAndroidを使用する機器の通信会社によって異なるため、必ず機器のマニュアルをご確認ください。
(基本 554は Samsung's Galaxy S – SKTの基本仕様になります。)

## 2-5-2. MENU ＞ ネットワーク ＞ ダイナミックDNS

ダイナミックDNS

ダイナミックDNS メニューでは、 DDNS 機能を設定することができます。
DDNSサーバーとして、dvr-ddns.com　が使用できます。
Dvr-ddns.comにつきましては、http://www.dvr-ddns.com/を参照してください。

ホスト名：↵ボタンを押すと仮想キーボードが表示されます。仮想キーボードで ホスト名を入力してください。

ID パスワード： 認証のための ID と Passwordを入力します。
アップデートボタンを押すと、ホスト名の更新ができます。

注意：DDNSの使用につきましては本製品を使用される方の責任で運用してください。　なお、DynDNS.comは、無償の DDNS service サイトでもありますが、英語表記のサイトとなります。
・ホスト名の更新は、24時間ごとに自動で行われます。

**DDNSの設定･利用方法につきましては、サポート対象外とさせて頂きます**

## 2-5-3. MENU ＞ ネットワーク ＞ 遠隔通知

コールバック

コールバックメニューでは、DVRで発生したイベントを遠隔通知することができます。 'アドレス'の↵ボタンを押せば仮想キーボードが現われて IPアドレスやドメイン名を入力することができます。 コールバック先 の IPアドレスを設定すれば複数の遠隔クライアントに同時に送ることもできます。
コールバック間隔 ： コールバック間隔を選択すれば遠隔サイトへのイベント転送の間隔を調整することができます。

注意：発生したイベントはすぐには遠隔サイトに通報はされません。 例えばコールバック間隔が 1分なら1分ごとに新たに発生したイベントが通報されます。
遠隔クライアントは、 Nemon Callback ソフトウェアが起動している必要があります。また、遠隔クライアントのパソコンが、コールバックメニューで設定したポートナンバー (標準 UDP 10110) で通信できるようにルーターなどの設定を行う必要があります。

# 設定メニューの詳細 ネットワーク

Eメール

Eメールメニューでは、テキストメッセージでイベントをEメール通報します。

Eメール間隔 ： Eメールを通じて送るイベント間隔を設定します

受信アドレス ： Eメールを受信するメールアドレスを入力します。(送信先のアドレス)

SMTP サーバー ： 仮想キーボードを使って SMTPサーバーを入力することができます。 SMTP サーバー情報はネットワーク管理者等から受けることができます。

送信アドレス ： Eメールを送信するメールアドレスを入力します。(送信元のアドレス)
IDとパスワードを入力します。

注意：発生したイベントはすぐにはEメール送信されません。 例えば Eメール間隔が1分の場合1分ごとに新たに発生したイベントが電子メールで送信されます

## 2-6. MENU ＞ イベント

イベントメニューではセンサー、モーション、ビデオロス、ＰＯＳ連動、システムのイベント設定を行うことができます。

### 2-6-1. MENU ＞ イベント ＞ センサー

#### センサー

センサーメニューでは、センサーの使用とセンサーのタイプを選択することができます。▼ボタンを押してセンサーのタイプを選択します。

NO：ノーマルオープン
NC：ノーマルクローズ
注意: 4番目の EMERGENCY入力は緊急録画(E.Rec)専用で、緊急録画開始時、信号は発報されます。

#### 録画

録画メニューでは各センサーを 1個または複数のカメラと連動して録画ができます。↵ボタンを押してセンサーとカメラを連動させます。 上図右は連動させるカメラを選択する画面です。

#### アラーム

アラームメニューでは各センサーを1個または複数のアラームやブザーと連動させることができます。↵ボタンを押してセンサーとアラームを連動させます。上図右は連動させるアラームやブザーを選択する画面です。

# 設定メニューの詳細 イベント

## 遠隔通知

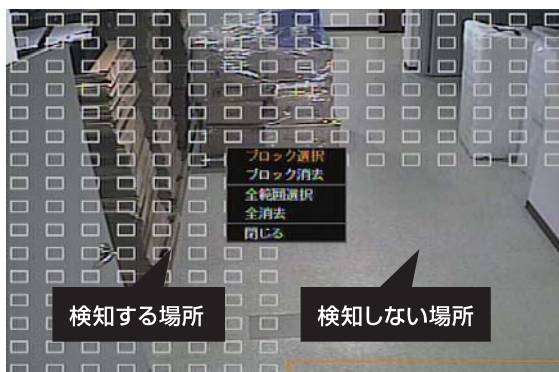
遠隔通知メニューでは、↵ボタンを押して 1個または複数のコールバックや電子メールと連動させることができます。　上図右は連動させるコールバック先のアドレスやEメールを選択する画面です。
コールバックやEメールの送信先は、MENU ＞ ネットワーク ＞ 遠隔通知　であらかじめ設定しておく必要があります。

## PTZ

PTZはイベントと連動してプリセット機能が使えます。イベントが発生した時、事前に設定したPTZカメラのプリセット位置に移動します。上の写真のようにセンサー1番が作動すると、2～5番PTZカメラは事前に設定してあるプリセット位置へ移動します。
PTZプリセットはセンサー / モーション感知 / 映像信号無し　の3種類イベントと連動しています。
複数のイベントが同時に発生した場合はセンサ- ＞ モーション感知 ＞ 映像信号無し　の順で優先順位が付けられています。

## 2-6-2. MENU ＞ イベント ＞ モーション

モーション録画機能を設定します。 モーション感度、 モーション感知表示、 モーション領域を設定することができます。

モーション

モーション録画をするカメラ選択します。
感度 ： '最高' から '低'まで ５段階でモーション感度を設定することができます。
範囲 ： モーション感知領域を設定することができます。

上図右は、モーション範囲の設定をする画面で小さな四角のブロックはモーション感知を指定した領域を表しています。
ブロック選択 ： それぞれのブロックを選択します。
(マウスでは、左側ボタンを使っていくつかのブロックを一度に選択したり選択を取り消すことができます)
ブロック消去： 選択されたブロックを消します。
全範囲選択 ： 全体画面のブロックを選択します。
全消去 ： 全体画面のブロックを選択取り消します。
閉じる ： 範囲の編集を終了します。

録画

録画メニューでは、他のカメラのモーション感知を1個または複数のカメラと連動してモーション感知録画ができます。
↵ボタンを押してモーション感知とカメラを連動させます
上図右は連動させるカメラを選択する画面です。

# 設定メニューの詳細 イベント

## アラーム

アラームメニューでは、ボタンを押してモーション感知と、1個または複数のアラームとを連動させます。上図右は連動させるアラームやブザーを選択する画面です。

## 遠隔通知

遠隔通知メニューでは、モーション感知と1個または複数のコールバック、電子メールとを連動させます。
上図右は連動させるコールバック先のアドレスやEメールを選択する画面です。コールバックやEメールの送信先は、MENU > ネットワーク > 遠隔通知　であらかじめ設定しておく必要があります。

## PTZ

PTZはモーション感知イベントと連動します。特定カメラに動きが感知されると、事前に設定してあるPTZカメラが特定位置へ移動します。

# 設定メニューの詳細

## 2-6-3. MENU ＞ イベント ＞ ビデオロス

### 記録

ビデオロスメニューでは、カメラからの映像が切れた時（ビデオロス時）、1個または複数のカメラをイベント録画と連動させることができます。↵ を押して、1個または複数のカメラをビデオロスと連動して設定することができます。上図右は連動させるカメラを選択する画面です。

### アラーム

アラームメニューでは、ボタンを押してモーション感知と、1個または複数のアラームとを連動させせます。上図右は連動させるアラームやブザーを選択する画面です。

### 遠隔通知

遠隔通知メニューでは、↵ボタンを押して、ビデオロと1個または複数のコールバック、 電子メールと連動させることができます。
上図右は連動させるコールバック先のアドレスやEメールを選択する画面です。
コールバックやEメールの送信先は、MENU＞ネットワーク＞遠隔通知　であらかじめ設定しておく必要があります。

### PTZ

PTZはモーション感知イベントと連動します。特定カメラに動きが感知されると、事前に設定してあるPTZカメラが特定位置へ移動します。

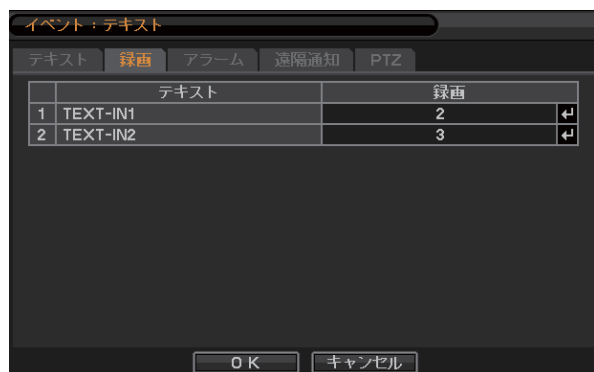
# 設定メニューの詳細

## 2-6-4. MENU ＞ イベント ＞ テキスト

テキスト

※本製品は POSなどと連動して、テキスト文字を入力し記録する機能がありますが、現状本機能はサポートしておりません。以下の説明は参考までに記載しております。
注意： 連動するためには 使用するPOS等で ASCII コードが支援されていなければなりません。

テキストイン形式 ： テキスト入力をするモデルを選択します。
手始め単語 ： テキストを取り込む最初の文字列を指定します。指定した単語が入力されれば一つのトランザクションが始まります。
任意文字 ：　どのような文字が入って来てもトランザクションが始まります。
終り単語 ： トランザクションを終了する文字列を指定します。終り単語が入力されれば一つのトランザクションが終了します。
無視する文字 ： トランザクション記録の時除かれる文字列を指定することができます。
回線の限界 ：　終了を決める単語を入力することができます。 CR=Carriage Return 復帰, LF=Line Feed 改行
大/小文字仕分け ： 入力される文字列の大小文字を区別しないように設定することができます。

録画

録画メニューでは、テキストイベントを一つまたは複数のカメラと連動することができます。
↵ボタンを押してテキストイベントとカメラを連動させることができます。

# 設定メニューの詳細 イベント

## アラーム

アラームメニューでは、テキストイベントを一つまたは複数のアラームと連動することができます。
↵ボタンを押してアラームと連動させることができます。

## 遠隔通知

遠隔通知メニューでは、↵ボタンを押して、テキストイベントと複数のコールバックや電子メールと連動させることができます。

## PTZ

PTZはテキストインイベントと連動します。特定カメラにテキストインイベントが感知されると、事前に設定してあるPTZカメラが特定位置へ移動します。

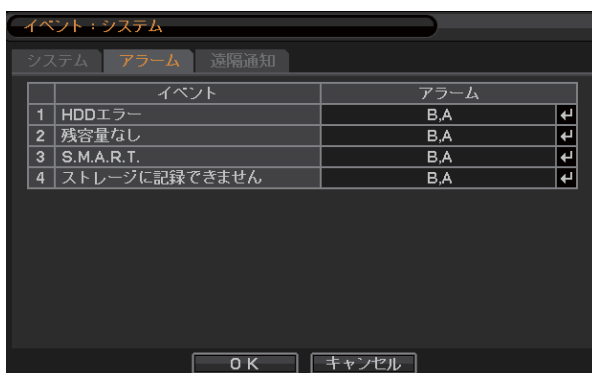
# 設定メニューの詳細

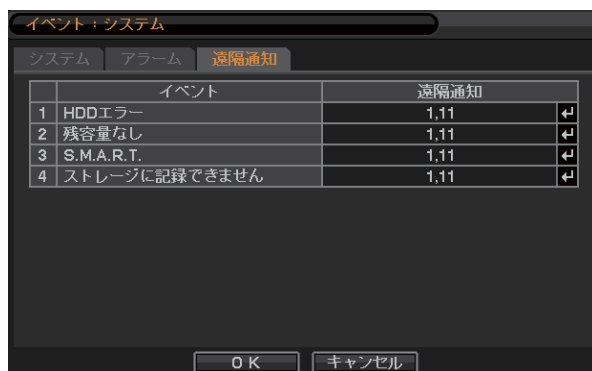
## 2-6-4. MENU ＞ イベント ＞ システム

システム

システムメニューの S.M.A.R.T 限界温度設定でHDDの温度状態を見張ることができます。 HDD装置の動作許容温度を設定することができます。
(初期値として65℃が設定されています)

録画限界で HDD保存容量が指定した容量分になると下のようないくつかの方法で警告メッセージが表示されます。

アラーム

アラームメニューでは、各システムイベントと一つまたは複数のアラームを連動させることができます。
↵ボタンを押せば上図右が表示され、各イベントと連動するアラームを選択することができます。
アラーム出力や画面で警告メッセージを表示(Aleat)したり、ブザー(Buzzer)を鳴らすことができます。

遠隔通知

遠隔通知メニューでは、↵を押して、1個または複数のカメラを各システムイベントと連動して設定することができます。
上図右は連動させるイベントを選択する画面です。

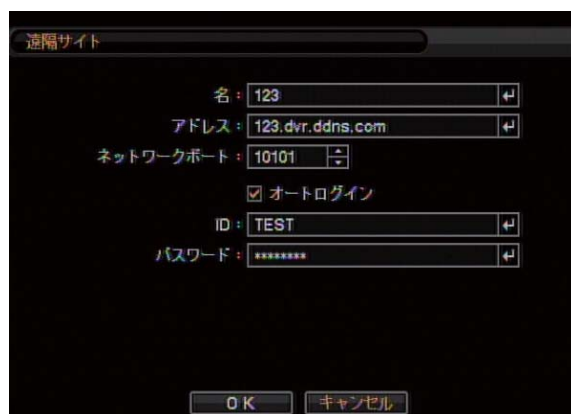
# 遠隔監視及び再生方法

## 2-7. 遠隔監視及び再生

ポップアップメニューで、遠隔監視及び再生機能は同じ仕様の他のDVRとネットワーク連結して、遠隔でライブ監視や再生が出来ます。

ポップアップメニューはマウスの右ボタンとフロントパネルの「↵ Enter」ボタンで実行されます。
再生モードでは「メニュー」ボタンで実行されます。

注意: VGAとCVBS出力の中で、一つだけ使用可能です。
注意: RD-4504シリーズのみ対応しています。
(16チャンネルDVRから8チャンネル、4チャンネル製品への接続は可能ですが、カメラの番号選択は出来ません。
チャンネル数が少ないDVRから多いDVRには接続が出来ません。
同じチャンネルか、多いチャンネルのDVRから少ないDVRだけに使用できます。)

### 2-7-1. ポップアップ > 遠隔 > 監視

編集: 登録されたサイトを編集したり、「+」ボタンを押して、追加します。
遠隔支店を追加したり、編集した後、「閉じる」ボタンを押してから、保存されます。

遠隔支店のリストから登録された支店を選択すると、自動接続になります。

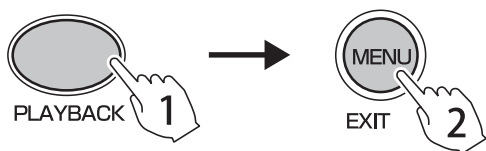
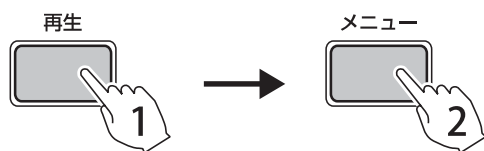
# 遠隔監視及び再生方法

## 2-7-1. ポップアップ ＞ 遠隔 ＞ 再生

遠隔支店リストから登録された支店を選択すると、自動接続になります。

# 録画した映像の再生

録画されている映像を検索して再生することができます。画面でマウス右側ボタンをクリックするかDVR前面の[再生]ボタン、リモコンの[PLAYBACK]ボタンを押してから、MENUボタンを押すと以下の再生メニューが表示されます。

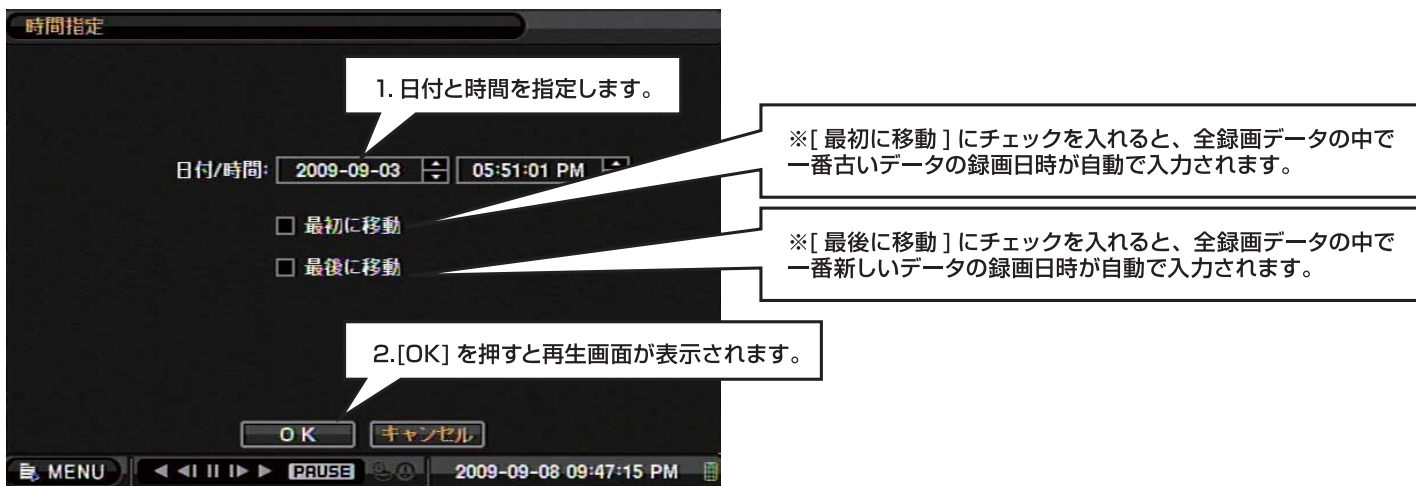
## リモコンあるいは前面ボタン(DVR本体)で操作する場合

リモコンの【PLAYBACK】ボタンまたは本体の【再生】ボタンを押してMENU(メニュー)ボタンを押すと、下図再生メニューが表示されます。

## マウスで操作する場合

マウスを右クリックすると、ライブメニューが表示されます。再生>HDDを左クリックし、画面上で右クリックすると、下図再生メニューが表示されます。

# 録画した映像の再生　時間指定再生

## 1.時間指定再生

1.再生メニュー内にある[指定]から[時間指定]を選択します

2.再生を開始または停止したい日時を入力し、[最初に移動]または[最後に移動]にチェックを入れてOKボタンを押すと再生画面が表示されます。

## 再生時のご注意

**[OK] を押しただけでは再生は開始しません。以下のボタンを操作することで再生が開始します。**
※マウス操作の場合は、画面のアイコンを直接左クリックします。

< リモコン操作の場合 >　　< 本体前面パネル操作の場合 >

# 録画した映像の再生　カレンダー検索再生

## 2.カレンダー検索再生

1.再生メニュー内にある[カレンダー検索]を選択します

2.日付を選択し、再生開始時間を指定し、その下にある[指定]を押すと再生画面が表示されます。

※[詳細]ボタンを押すとカメラ毎の録画テーブルを
確認しながら再生開始時間を指定できます。

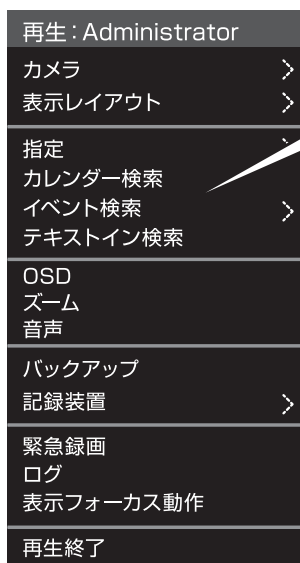
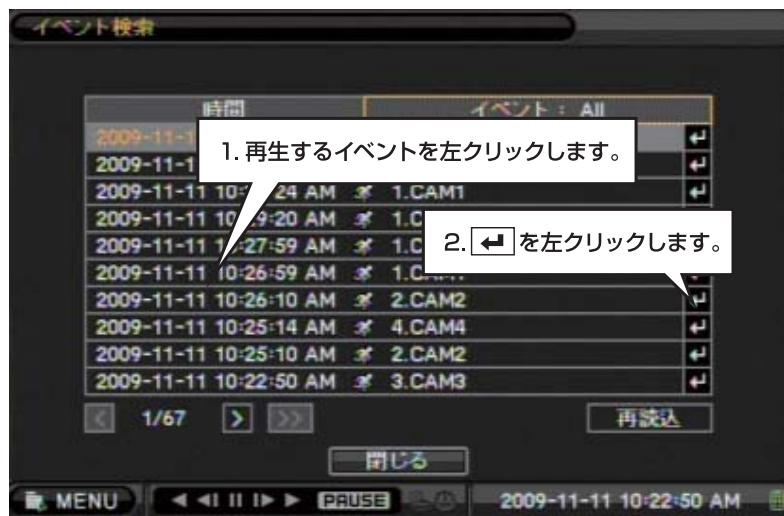
○録画テーブル詳細画面

## 再生時のご注意

**[ 指定 ] を押しただけでは再生は開始しません。以下のボタンを操作することで再生が開始します。**
※マウス操作の場合は、画面のアイコンを直接左クリックします。

# 録画した映像の再生　イベント検索再生

### 3.イベント検索再生

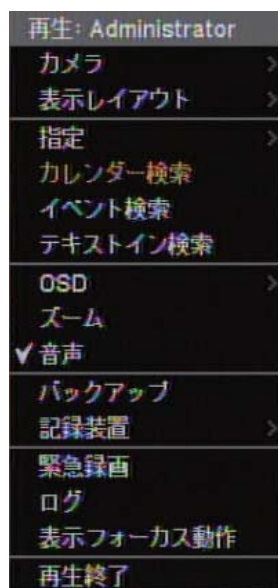
1.再生メニュー内にある[イベント検索]を選択します

2.リストから再生するイベントを選択し、その右にある[↵]を押すと再生画面が表示されます。

○録画テーブル詳細画面

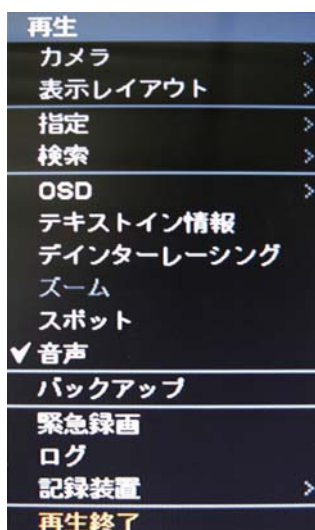
イベントが表示されているページは、100件単位で表示しています。
[<][>]ボタンで前後の10件が表示されます。
※最新より100件前のイベントを確認する場合は、[>>]ボタンを押すと前の100件のイベントを確認することができます。

## 再生時のご注意

**[ 指定 ] を押しただけでは再生は開始しません。以下のボタンを操作することで再生が開始します。**
※マウス操作の場合は、画面のアイコンを直接左クリックします。

**4.テキストイン検索再生** ※本機では使用しません。

1.再生メニュー内にある[テキストイン検索]を選択します

開始/終了： 検索するデーター範囲の日時を指定します。
テキスト ： 検索したいテキストを入力します。
検索条件を入力した後確認ボタンを押せばテキストイン検索が始まり結果が表示されます。

## 再生時の終了

録画再生中にリモコンまたは本体のMENU(メニュー)ボタンを押すと上記の再生メニューが表示されます。一番下の再生終了を選択して確定すると再生が終了します。

# 録画した映像のバックアップ

録画した映像を USB メモリーにコピーすることができます。コピーした映像はパソコンで見ることができます。

1.本体前面パネルまたは背面にあるUSBコネクタにUSBメモリーまたは外付けHDDを挿入します。

**【リモコンあるいは前面ボタン(DVR本体)で操作する場合】**

リモコンの【PLAYBACK】ボタンまたは本体の【再生】ボタンを押してMENU(メニュー)ボタンを押すと、下図バックアップメニューが表示されます。

**【マウスで操作する場合】**

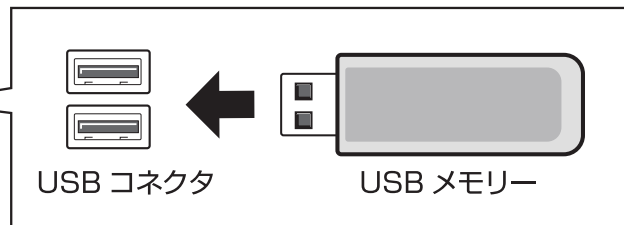
2.マウスを右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。バックアップ ＞ バックアップ作成を左クリックし、画面上で右クリックすると、下図バックアップ画面が表示されます。

# 録画した映像のバックアップ

ファイル名を入力し、 [開始]、[終了]する日付と時間を設定します
[カメラ]の項目で1台または複数のカメラを選択することができます
'音声'を選択すれば映像データとともに音声も保存されます。
[ステータス]は保存するメディアの容量及び進行過程が表示されます。
最後に、スタートを押して、保存を開始します。なお、保存には時間がかかりますので、保存中に[閉じる]を押してライブ映像画面などに戻ることもできます。 その場合も保存は継続しています。
保存した映像ファイルは本DVR添付の遠隔監視用ソフトウェア(Ｎｅｍｏｎ)で再生します。

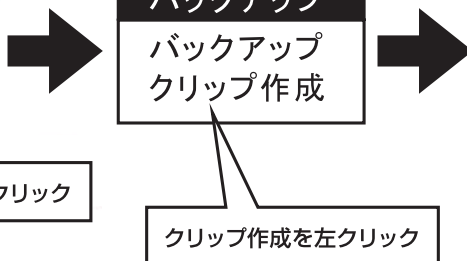
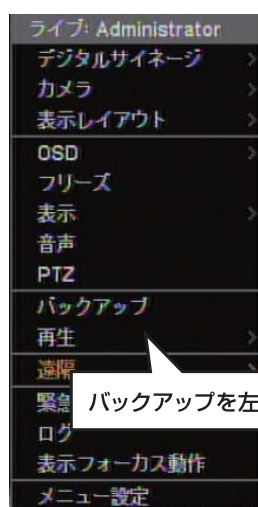
# 録画した映像のクリップ作成

録画した映像を 1 チャンネル（カメラ1台）単位で USB メモリーまたは外付け HDD にコピーすることができます。
保存した映像ファイルはパソコンの Media Player で再生することができる形式で保存されます。

1.本体前面パネルまたは背面にあるUSBコネクタにUSBメモリーまたは外付けHDDを挿入します。

**【リモコンあるいは前面ボタン(DVR本体)で操作する場合】**

リモコンの【PLAYBACK】ボタンまたは本体の【再生】ボタンを押してMENU(メニュー)ボタンを押すと、下図バックアップメニューが表示されます。

**【マウスで操作する場合】**

2.マウスを右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。バックアップ ＞ クリップ作成を左クリックし、画面上で右クリックすると、下図クリップ作成画面が表示されます。

# 録画した映像のクリップ作成

ファイル名、保存日時、保存するカメラと音声保存の有無を指定して、スタートボタンを押します。なお、保存には時間がかかりますので、保存中に[閉じる]を押してライブ映像画面などに戻ることもできます。その場合もバックアップは継続しています。

注意：MP4形式の動画再生をサポートする Playerでも再生可能です。
　　　MP4 形式でのバックアップはオーディオをサポートしません。
　　　音声を同時にバックアップする場合は、通常のバックアップ（P.57）をしてください。

# 簡易バックアップ

再生画面で映像を再生させながら、USBフラッシュメモリ等にその映像を保存することができます。
操作を始める前に、本体前面USB端子の上段にUSBフラッシュメモリ等をあらかじめ挿入しておきます。

等倍速再生中にリモコンや本体前面のバックアップボタンを押せば、上図の簡易バックアップ画面が現われます。ファイル名や音声を選択してスタートを押せば再生をしながらその映像の保存が開始されます。簡易バックアップ中は、バックアップアイコンが画面に表示されます。 バックアップの終了は、もう一度バックアップボタンを押します。なお、保存する映像は、1画面表示で再生していればそのカメラの映像が、4分割で再生していれば4チャンネルすべての映像が保存されます。
簡易バックアップで保存した映像ファイルは本機種に添付されているWindowsパソコン用の遠隔監視用ソフトウェア（ Ｎｅｍｏｎ ）で再生します。

# 遠隔監視ソフトの利用方法

## 1. パソコンにインストールする

### 1-1. Nemon2の動作環境

対象機種

Pentium(R)4 プロセッサ 2. 4GHz 以上 のCPUを搭載したパーソナルコンピュータ

対応ＯＳ

Microsoft(R) Windows(R) 2000 / XP / Vista / 7

必要メモリ容量

RAM：512MB以上

必要ハードディスク容量

２０MB以上の空き容量

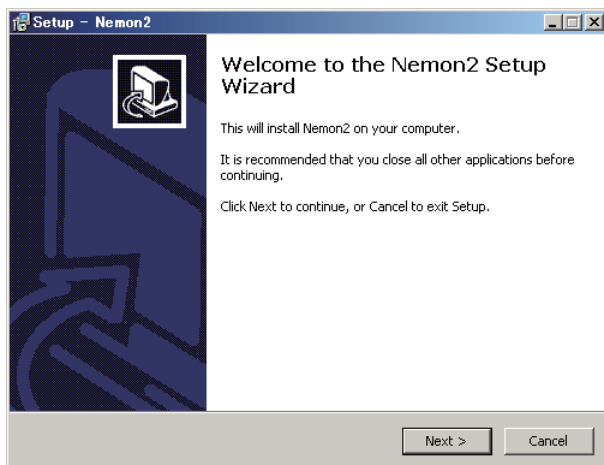
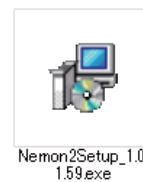
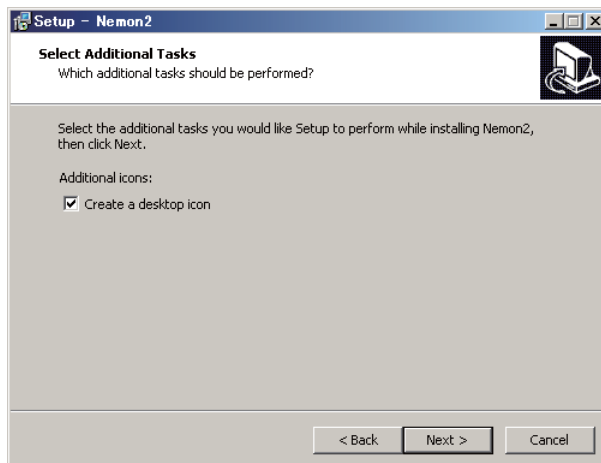
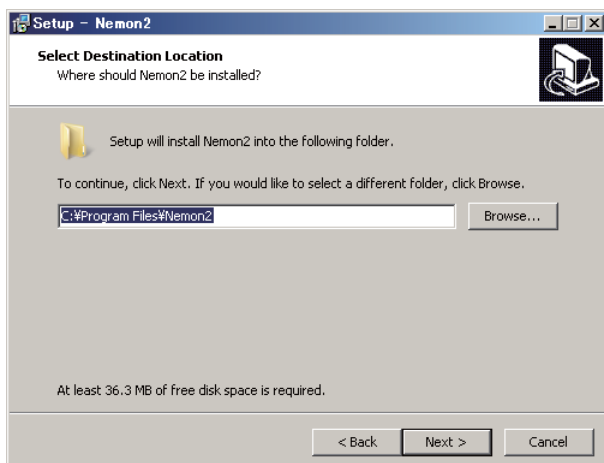
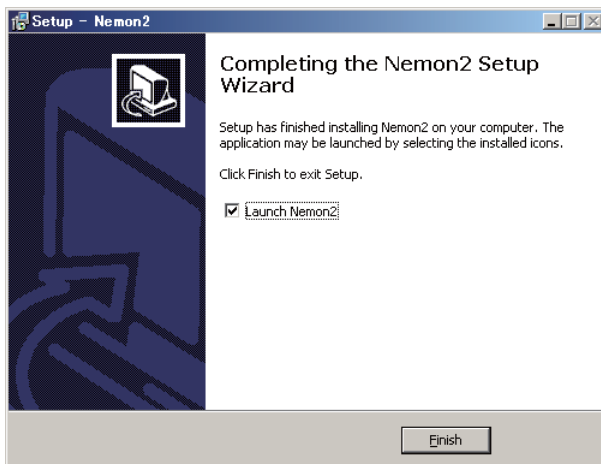
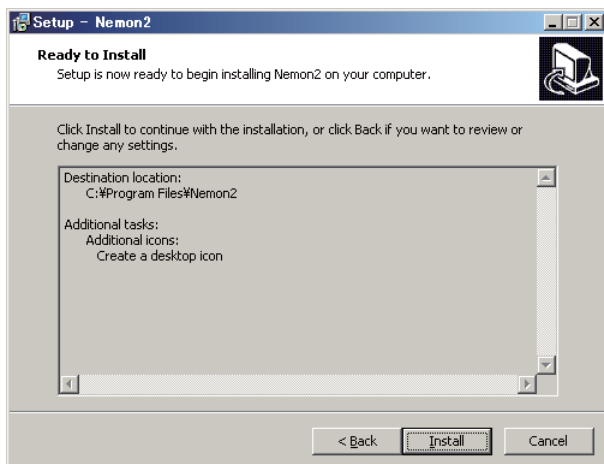
解像度／表示色 など

VGA：1280×1024 , 24bitカラー , ATI Chip set , DirectX 7.0 サポート

*注意：*

*使用するパソコンのVGAカードがDirectX7.0に対応していない場合、Nemon起動時にDirectX7.0に関するメッセージが表示される場合があります。 そのまま、OK を押すとNemonは起動しますが、表示される映像の画質や描画スピードが遅くなりますのでご注意ください。*

# 遠隔監視ソフトの利用方法

1.Nemon ソフトウェアのCDをPCに入れます。
2.フォルダ内にある[Nemon2Setup_数字.exe]をダブルクリックし、インストールを開始します。
3.[Next]ボタンをクリックしてください。

4.インストールするフォルダを選択した後に「Next」ボタンをクリックしてください。

5.「Finish」ボタンをクリックしてください。自動でソフトが起動します。

※2回目以降はインストールする必要はありません。

デスクトップにある  をダブルクリックするとソフトが起動します。

# 遠隔監視ソフトの利用方法

遠隔監視ソフトをインストール後、デスクトップにある 

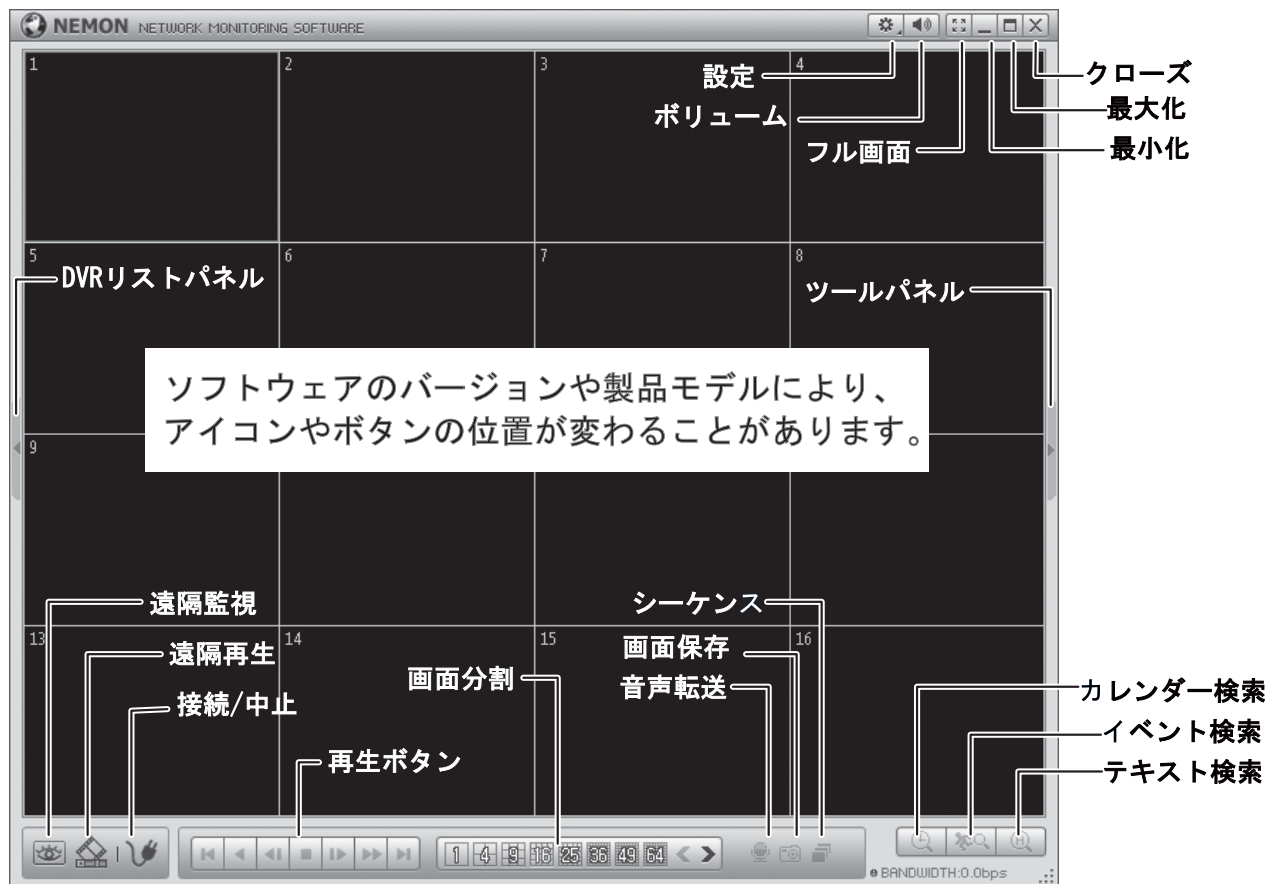
のアイコンをダブルクリックして、ソフトを起動します。

NEMON NETWORK MONITORING SOFTWARE

設定
ボリューム
フル画面
クローズ
最大化
最小化
DVRリストパネル
ツールパネル

ソフトウェアのバージョンや製品モデルにより、
アイコンやボタンの位置が変わることがあります。

遠隔監視
遠隔再生
接続/中止
再生ボタン
画面分割
シーケンス
画面保存
音声転送
カレンダー検索
イベント検索
テキスト検索

BANDWIDTH:0.0bps

遠 隔 ラ イ ブ : 遠隔監視モードに切り換えます。
遠　隔　再　生 ： 遠隔再生モードに切り換えます。
接 続 / 中 止 : 遠隔に設置しているDVRを登録したり、接続する時に使用します。
再 生 ボ タ ン : 検索後、映像を再生するためのボタンです。
画　面　分　割 ： 画面分割を変更します。(1、4、9、16、25、36、49、64分割)
シ ー ケ ン ス : 設定した画面を自動で切り換えます。
画　面　保　存 ： DVRの映像を静止画で保存します。
音　声　転　送 ： DVRの音声を聞くときに使用します。
設　　　　定 ： NEMONの設定をしたり、接続になった状態の遠隔DVRの設定を行います。
ボ リ ュ ー ム : 音量を調節したり、音を消します。音声出力は1個のみ、選択されたカメラの音声が聞こえます。
フ　ル　画　面 ： 映像をモニター全画面で表示します。
最大化、最小化: 画面を最大化、または最小化 します。
ク　ロ　ー　ズ ： ソフトウェアを終了します。

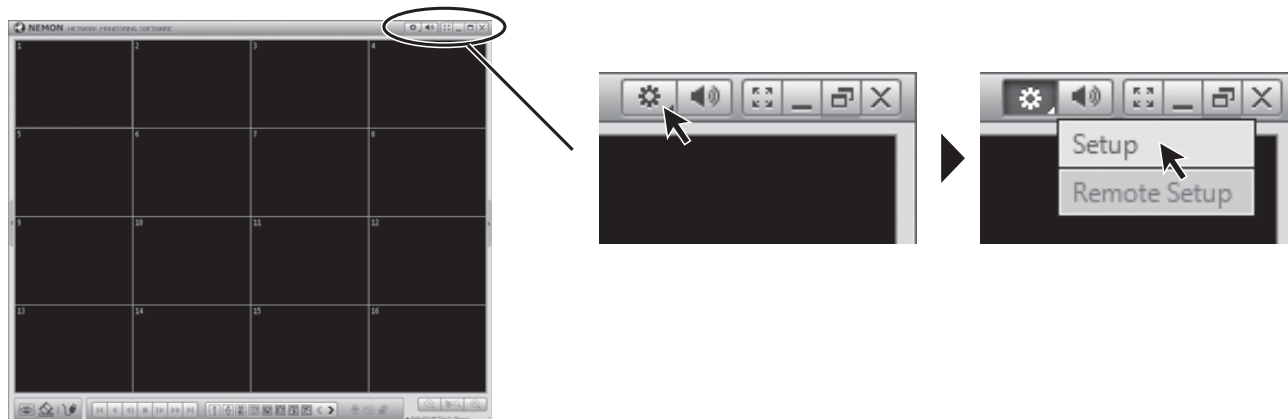
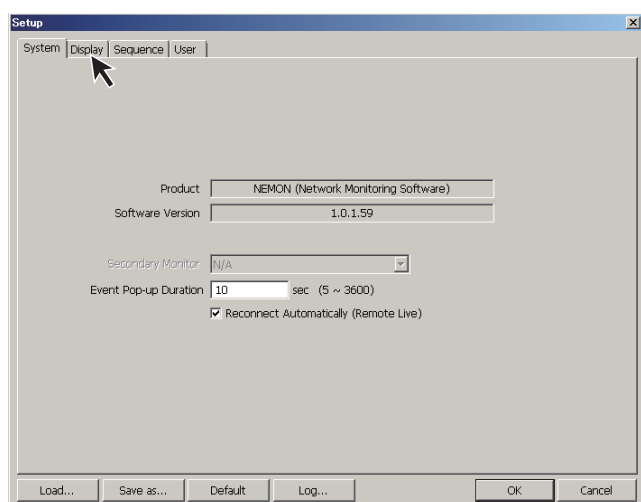
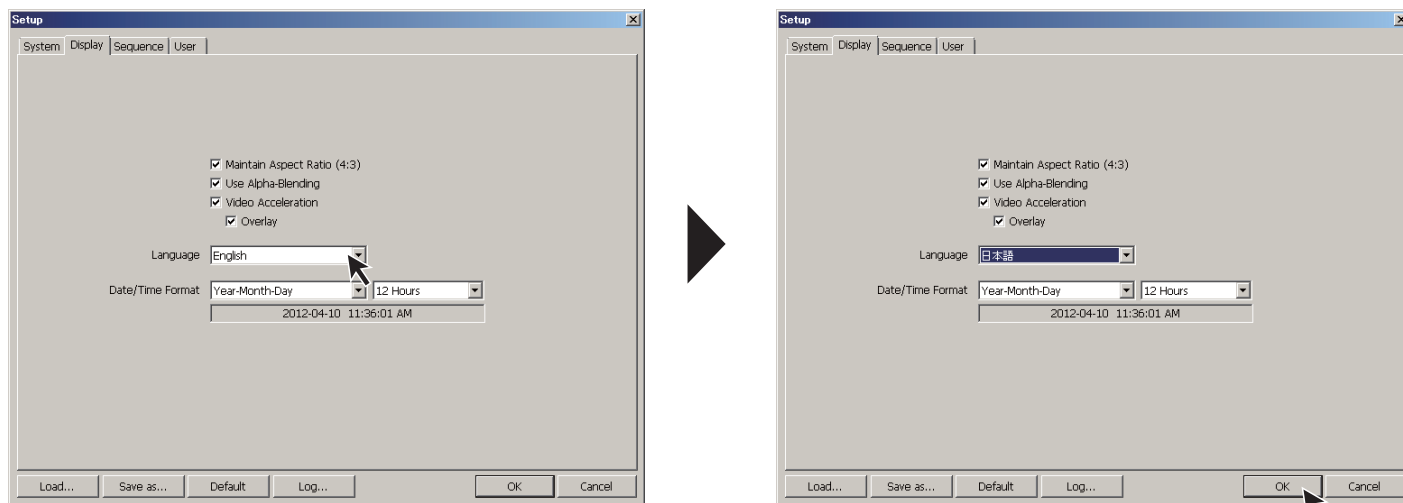
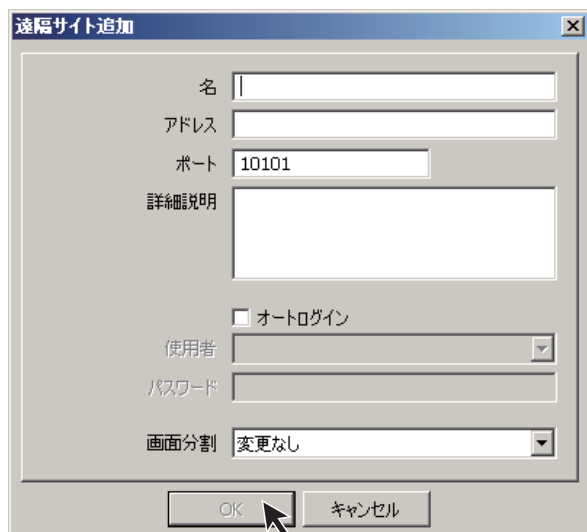
下の機能は遠隔再生モードのみ、実行されます。

**カレンダ検索、イベント検索、テキスト検索**: 遠隔再生モードで、該当の映像を検索します。

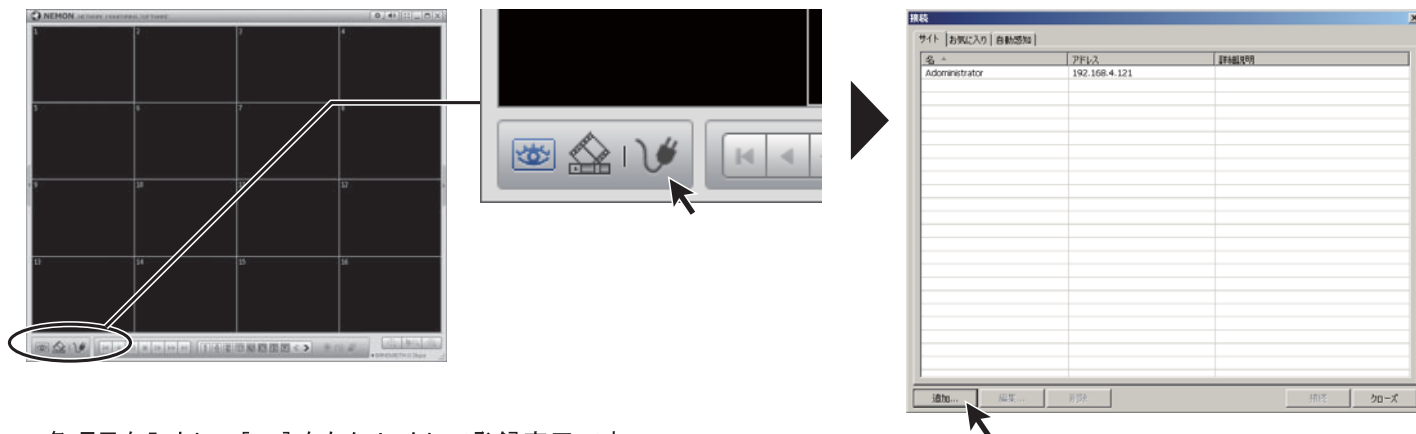
バックアップボタンを選択すると、下記のような選択ができます。
MP4形式: 選択した映像をMP4形式の動画で保存します。(音声は保存しません。)
バックアップ形式:選択した映像を独自形式の動画で保存します。(音声も保存します)

# 日本語表示への変更方法

初期設定では英語表示になっているので、それを日本語表示に変更します。

1. 設定の [Setup] を左クリックし、表示された項目にある [Setup] を左クリックします。

2. 上部の [Display] を左クリックします。

3.Languageで [ 日本語 ] を選択し、[OK] を押して完了します。

# DVR の登録方法

遠隔監視するレコーダーを登録します。

1. [アイコン] を左クリックして接続画面を開き、[ 追加 ] を左クリックして登録画面を開きます。

2. 各項目を入力し、[OK] を左クリックして登録完了です。

名　　　　　：任意の名前を入力します。

アドレス　：サイトの IP アドレス、及びドメイン名を入力します。

ポート　　：ソフトウェアを設定するための特定ポートがある場合はポート番号を入力します。

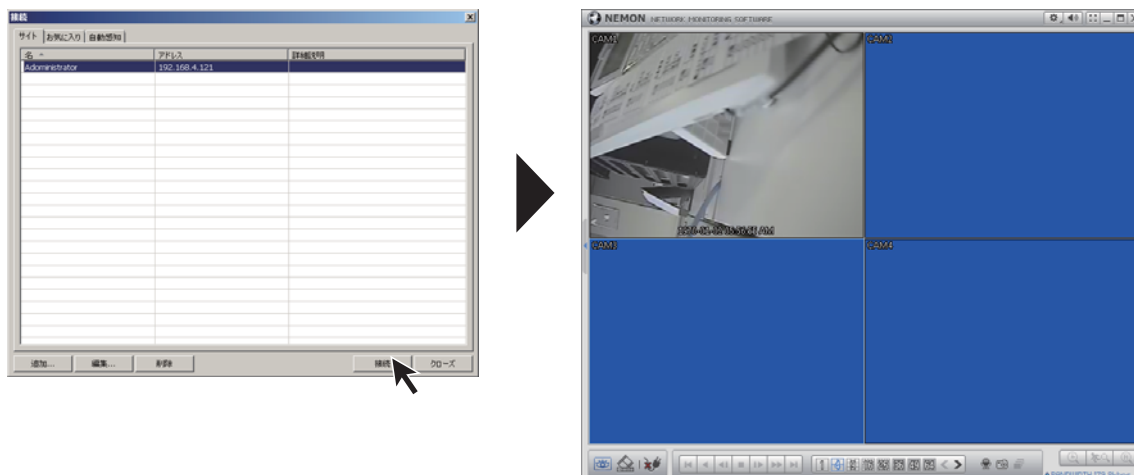
詳細説明　：サイトに関する情報を入力します。

オートログイン：遠隔 DVR に接続する際、自動でログインするようにします。

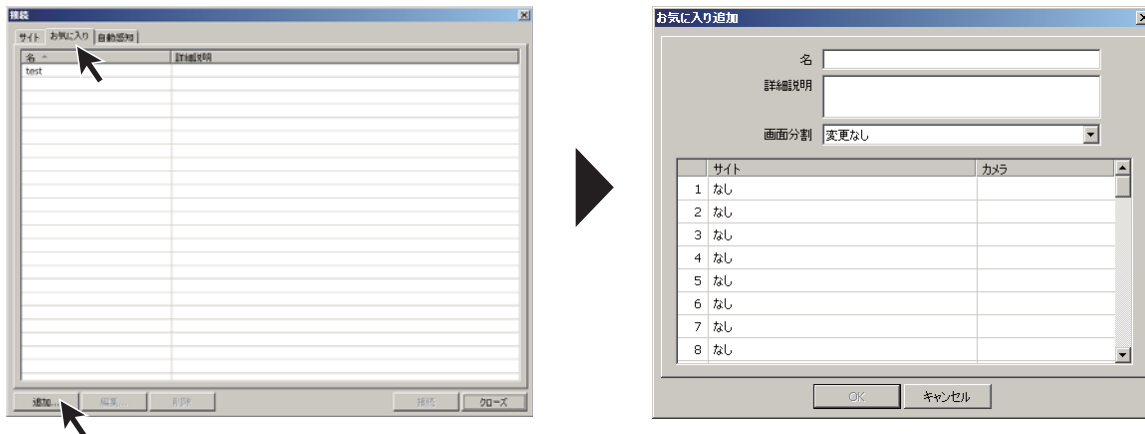
使用者　　：使用者タイプを選択します。

パスワード：使用者のパスワードを入力します。（初期値：空欄）

画面分割　：接続時の画面分割モードを選択します。

3. 登録した DVR を選択した状態で、[ 接続 ] を左クリックすると遠隔監視が開始します。

# お気に入りの登録

登録してある DVR の中からそれぞれ同時に表示したいカメラを登録、監視ができます。

1. を左クリックして接続画面を開き、タブメニュー内 [ お気に入り ] を選択し、[ 追加 ] を左クリックして登録画面を開きます。

2. 各項目の入力、カメラの選択を行い、[OK] を左クリックして登録完了です。

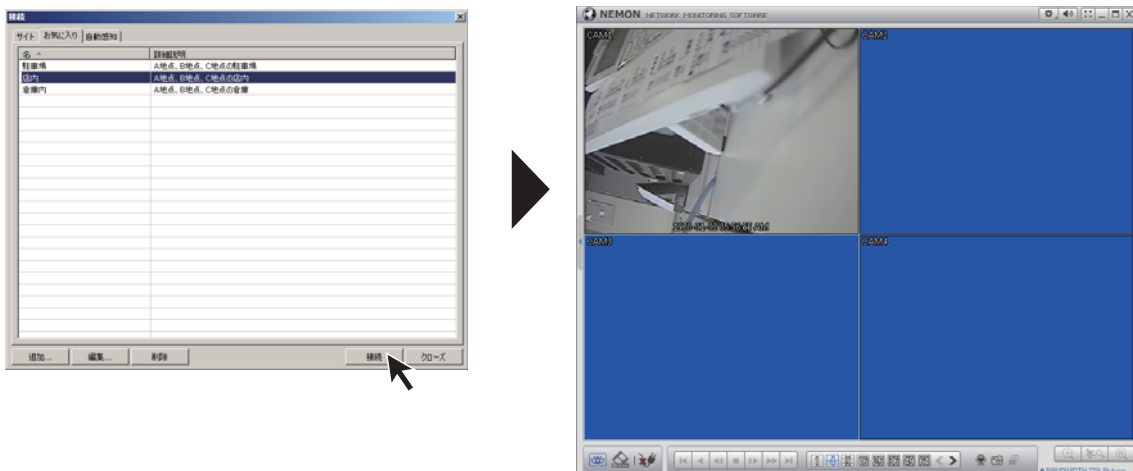
名　　　　：任意の名前を入力します。

詳細説明：説明を入力します。

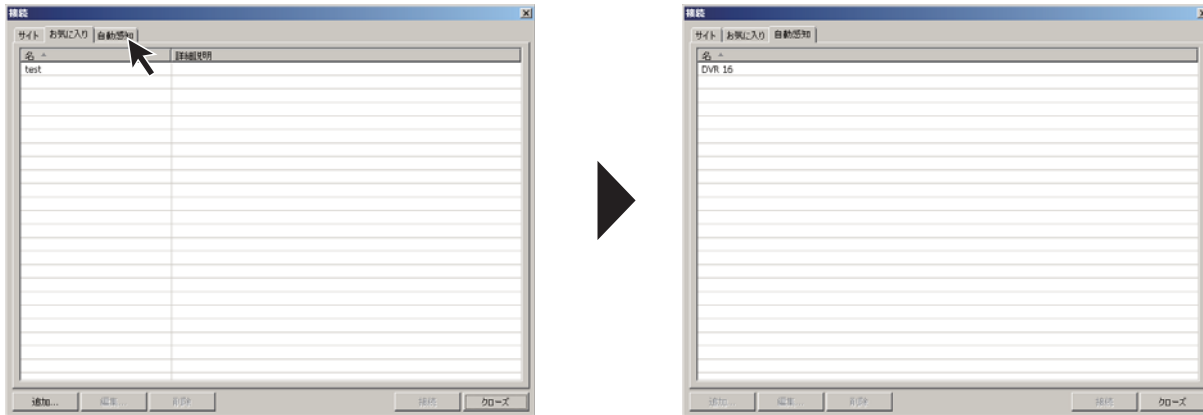
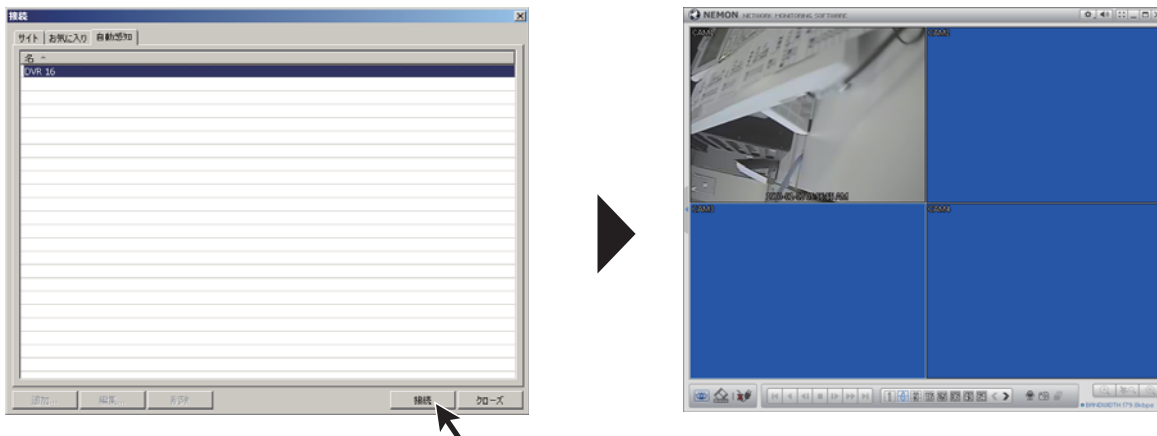
画面分割：接続時の画面分割モードを選択します。

サイト　：DVR を選択します。

カメラ　：カメラのチャンネルを選択しまう。

3. 登録したお気に入りを選択した状態で、[ 接続 ] を左クリックすると遠隔監視が開始します。

## 自動感知

遠隔監視を行う PC と同一 LAN 内にある DVR を自動で検出し、監視が可能です。

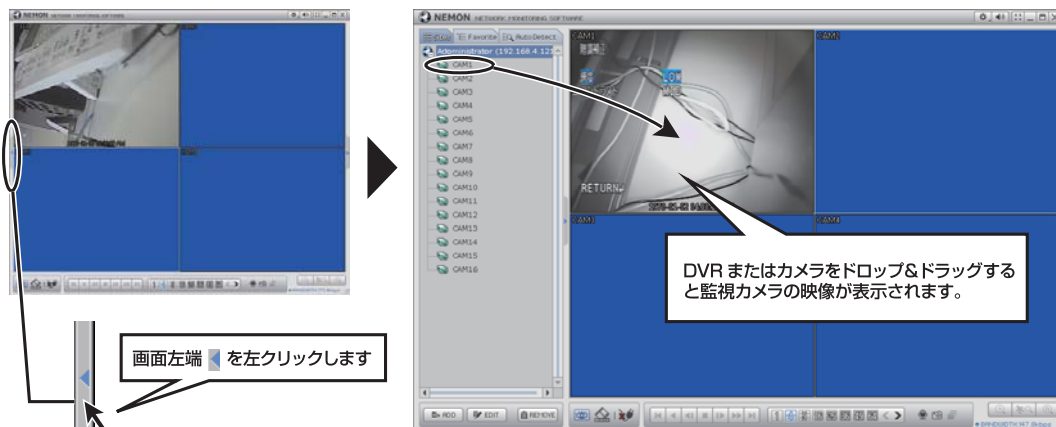
1. を左クリックして接続画面を開き、タブメニュー内 [ 自動感知 ] を選択します。

2. 接続する DVR を選択し、[ 接続 ] を左クリックすると遠隔監視が開始します。

## DVR リストパネルの操作

登録した DVR は DVR リストパネルに表示されます。ここから監視したい DVR・カメラを選択して監視することが可能です。

■タブメニュー説明

Sites

…登録してある DVR のリスト表示

Favorite

…登録してあるお気に入りのリスト表示

Auto Detect

…自動検知された DVR のリスト表示

■下部アイコン説明

ADD …リスト追加ボタン

EDIT …リスト編集ボタン

REMOVE …リスト削除ボタン

# 遠隔監視ソフトの利用方法

## ツールパネル

下のツールパネルで DVR 情報、PTZ カメラのコントロールができます。

### DVR 情報

DVRメニューは現在、接続になっているDVRのVideo loss、動き検知、センサー動作状態などがわかって、使用者はDVRのアラーム 出力を制御してアラームを活性化、または非活性化が出来ます。

 **更新**: 接続になっているDVRの状態情報をアップデートします。

 **アラームリセット**: 活性化になっている全アラームを非活性化して、初期化します。

### PTZ

PTZメニューは現在、遠隔監視(Live)モードで接続した遠隔のDVRのPTZ 制御をリアルタイムで行います。

DVRで、PTZ設定になっているカメラがある場合にだけ、自動で活性化になります。

**フリーセット保存**: PTZカメラの現在位置をフリーセットで保存します。
最大16個の位置が保存できます。

**フリーセット移動**: PTZカメラを保存された位置へ移動します。

**TEXT-IN** ※本機では使用しません。

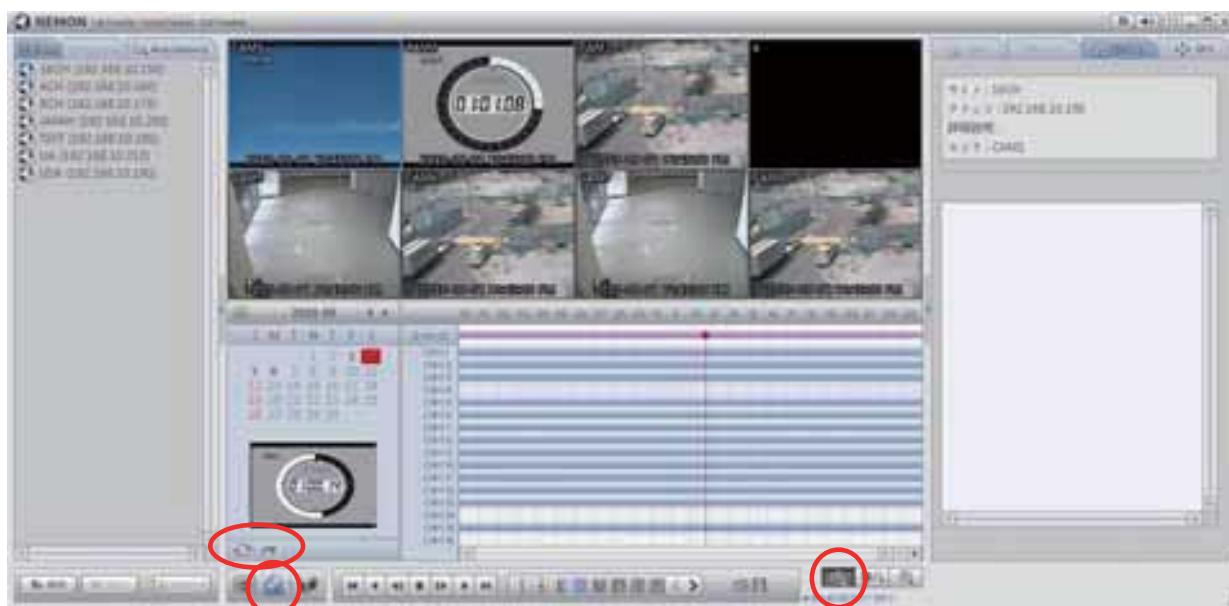
**GPS** ※本機では使用しません。

# 遠隔監視ソフトの利用方法

## 遠隔再生

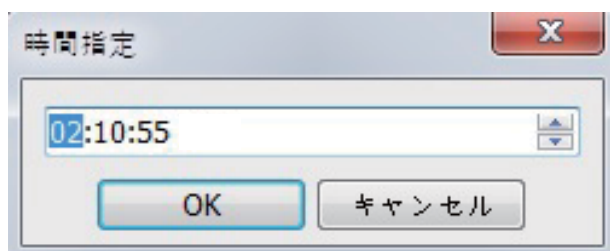
### カレンダー検索

 アイコンをクリックし、接続すれば検索 メニューが現れます。

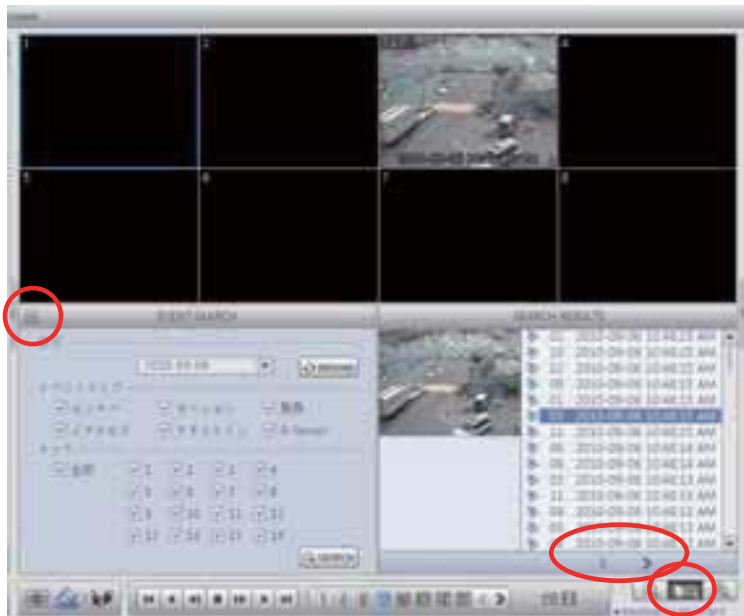
アイコンをクリックすれば、カレンダー検索ができます。カレンダーで録画されたデータがある日は明るく表示されます。日付を選択すると、時間テーブルが現れます。再生したい時間を設定して、再生ボタンを押すと、再生になります。

- 逆早送り再生
- 逆再生
- 逆コマ送り再生
- 最初のデータに移動
- 中止
- コマ送り再生
- 最後のデータに移動
- 再生
- 早送り再生

アイコンをクリックすれば、カレンダー情報を更新します。

### 時間検索

アイコンをクリックすれば、時間を直接入力して検索ができます。

# 遠隔監視ソフトの利用方法

## イベント検索

クリックすれば、イベント検索メニューに移動します。
検索しようとする日付、イベント種類及びカメラ番号を選択してSEARCHボタンを押します。

再生するイベントをリストから選択します。 ボタンを使用してリストを検索します。
検索されたリストの項目をクリックして、再生メニューを利用して再生します。

## テキスト検索 ※本機では使用しません

をクリックすれば、テキスト検索メニューへ移動します。
検索しようとする日付と特定単語をADDして、SEARCHを押すと、検索になります。

再生するイベントをリストから選択します。 ボタンを使用してリストを検索します。
検索になったリストの項目をクリックして、再生メニューを利用して再生します。

# 遠隔監視ソフトの利用方法

## 遠隔バックアップ

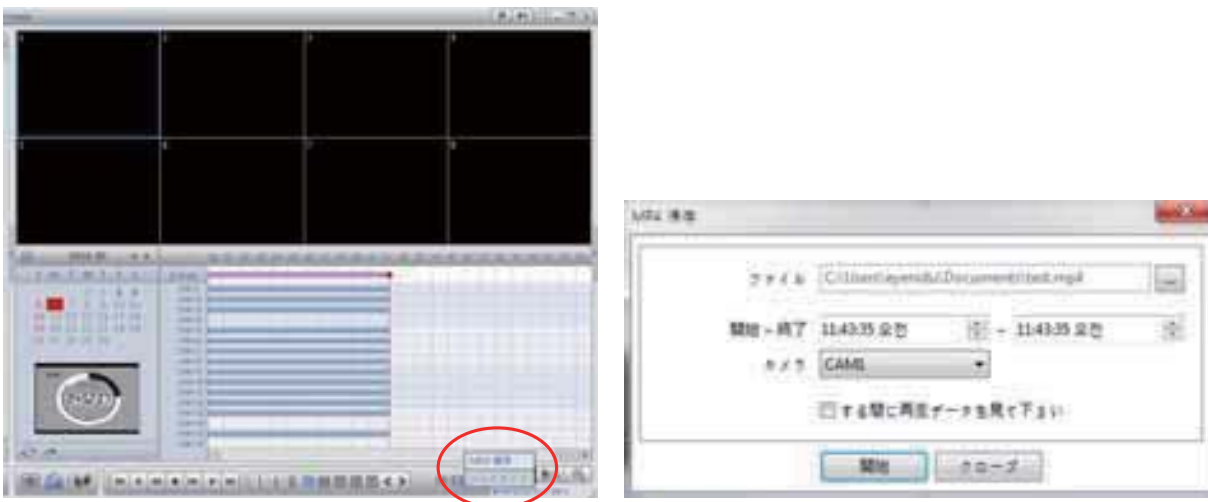
### イメージ保存

再生を止めて、📷ボタンを押すと、録画データが静止画で保存できます。

保存ボタンを押して、保存する位置とjpg, bmp, png 形式を選択します。

## 動画保存

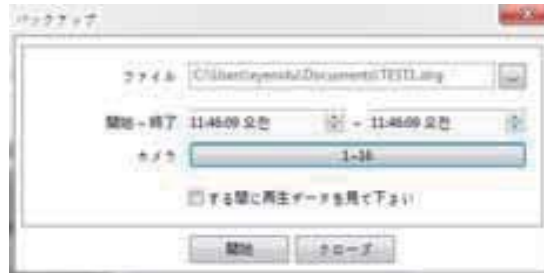
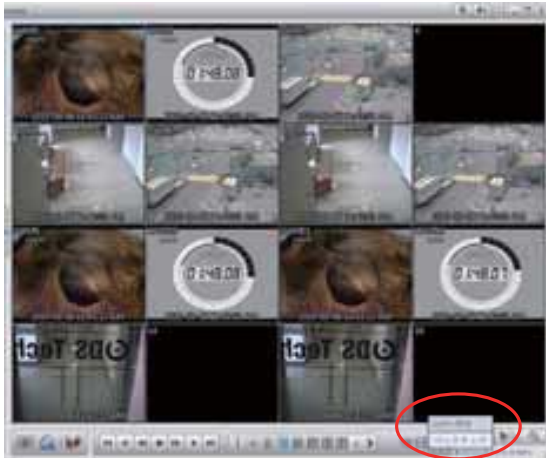
### MP4ファイル保存

再生を止めて 🎞ボタンと、MP4 ファイル保存ボタンを押すと、録画されたデータが MP4 形式の動画で保存されます。

・ ファイル名と保存位置を設定します。
・ 保存する時間の開始と終了を設定します。
・ 保存するカメラを選択します。
・ バックアップ中、 再生データ表示を選択すれば、 バックアップされている映像を見ることができます。

注意 : MP4 形式の動画は QuickTimePlayer 等で再生可能です。
※MP4 形式でのバックアップでは音声に対応していません。
音声を一緒にバックアップする場合は次ページのバックアップを行ってください。

# 遠隔監視ソフトの利用方法

**バックアップ**

再生を止めて、🎞ボタンとバックアップボタンを押すと、録画されたデータが独自形式の動画で保存されます。

- ファイル名と保存位置を設定します。
- 保存する開始時間と終了時間を設定します。
- 保存するカメラを選択します。
- バックアップの中、再生データ表示を使用すれば、バックアップされている映像を見ることができます。

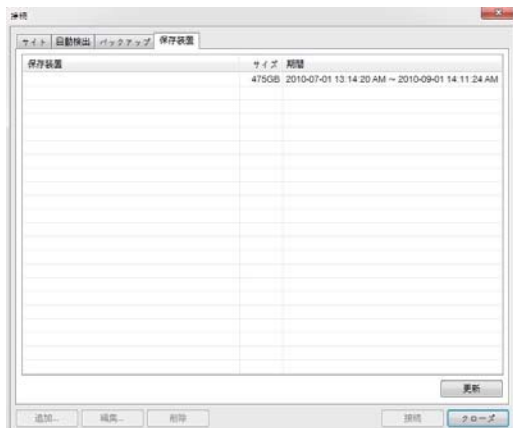
## バックアップ映像の再生

バックアップした映像ファイル (*.strg) は Nemon で再生ができます。

遠隔再生モードで ボタンを押して、バックアップメニューを選択します。

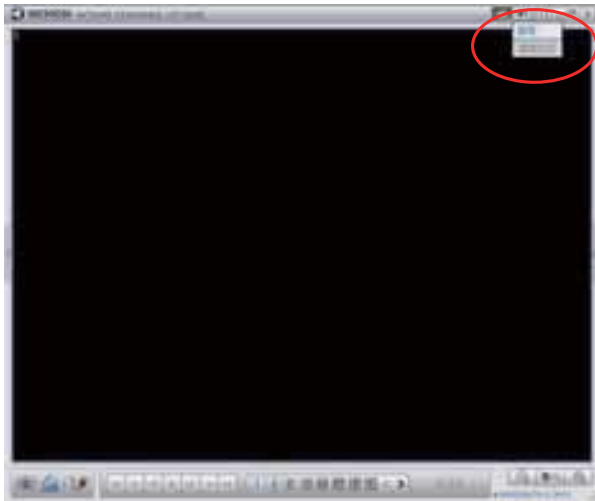
バックアップしたファイルの位置を選択します。
検索したファイルの中で、再生するファイルを選択します。
連結ボタンを押すと、再生になります。

検索したファイルの中で、再生するファイルを選択します。
連結ボタンを押すと、再生になります。

## HDD 再生

DVR で使用した SATA HDD を PC で再生できます。
SATA to USB ジェンダー ケーブルを利用して、SATA HDD を USB 外付けハードで 認識させる場合、Storage メニューで、DATA を検索して、再生できます。
もし、連結した HDD が検索出来ない場合は、更新で確認してください。

# 遠隔監視ソフトの利用方法

## システム設定

をクリックして、設定をクリックすれば、設定メニューへ入ります。

製品名：ソフトウェアの一般情報を確認できます。

ソフトウェアバージョン：現在のソフトウェアのバージョンが確認できます。

セカンダリーモニター：PCでデュアルモニターを使用する場合にマルチディスプレーが利用できます。

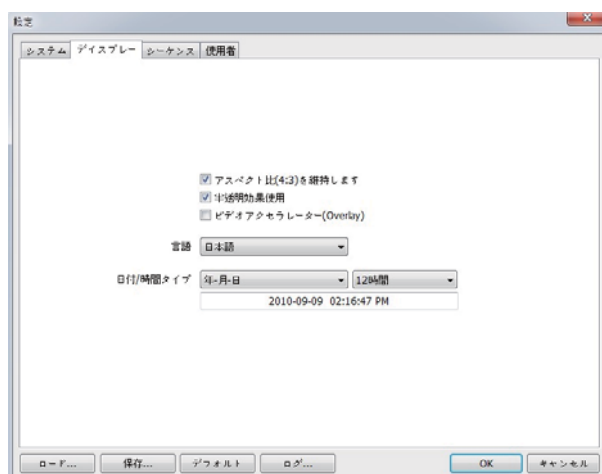
イベントポップアップ持続時間：イベント発生時に1画面でポップアップ表示される時間を設定します。

自動再接続（Remote Live）：遠隔監視モードで接続が切れた場合、自動で再接続を試みます。

デフォルト：遠隔ソフトウェアの設定を初期値へ戻します。

ログ：ソフトウェア使用記録を見ることができます。

## ディスプレー設定

ディスプレー メニューで遠隔ソフトウェアの設定ができます。

画面比率維持(4:3)：分割画面の画面比率を全体画面時にも4:3割合で維持します。

半透明効果: ソフトウェア UIを 半透明にできます。

ビデオアクセラレーター: 遠隔ソフトウェア上で監視映像の色味を自動調整します。
※PCのグラフィックカードによっては使用すると映像が乱れる場合があります。

言語: 遠隔 ソフトウェアの言語を選択します。

日付/時間 形式: 日付/時間形式を選択します。

# 遠隔監視ソフトの利用方法

## シーケンス設定

遠隔監視モードで設定された遠隔 DVR を指定した時間間隔に順次切り換えして、監視ができます。

[ > ] : 選択した一個のDVRを リストに追加

[ >> ] : DVR全体をリストに追加

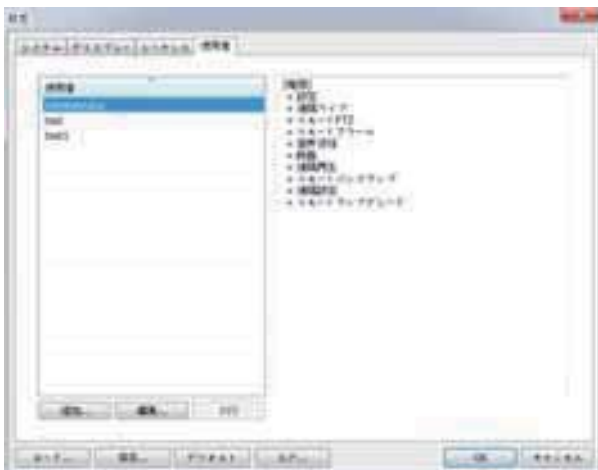
[ < ] : 選択した一個のDVRをリストから削除

[ << ] : リスト全体を削除

[ ▲ ] : リストで選択したDVRを上位へ移動

[ ▼ ] : リストで選択したDVRを下位へ移動

シーケンス期間 : 順次転換する時間間隔を設定します。

## 使用者設定

ソフトウェアの使用者管理をします。

使用者 ID をクリックすれば、権限及び情報が表示されます。

追加ボタンを押すと、追加した使用者の暗号及び権限設定ができます。

名前: 追加する使用者IDを入力します。

説明: 使用者に対する追加説明を入力します。

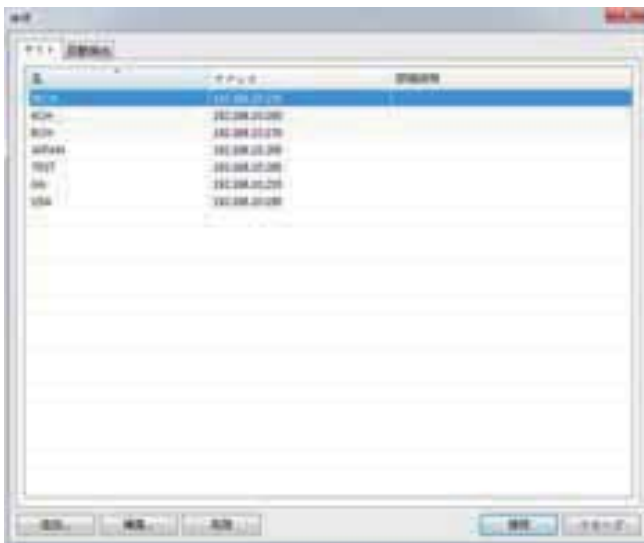
パスワード: 使用者ログイン時、必要なパスワードを入力します。

権限: 該当使用者に対する必要な権限を選択します。

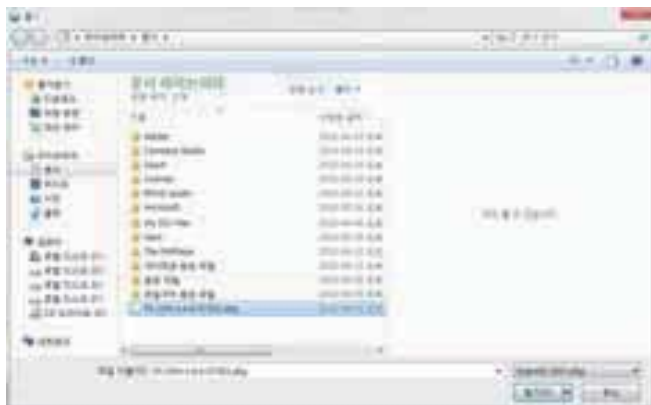
確認 ボタンを押さえれば、使用者が追加なります。

# 遠隔監視ソフトの利用方法

## 遠隔 設定

をクリックして、遠隔設定を選択すれば、遠隔設定メニューに入ります。

設定するDVRを選択して、連結ボタンを押すと、遠隔設定モードに接続します。
注意: 遠隔ソフトウェアで、DVRの設定をする方法はDVR本体での設定と同じです。

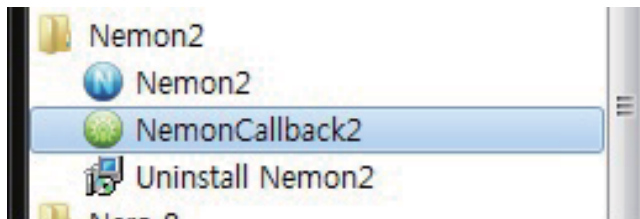
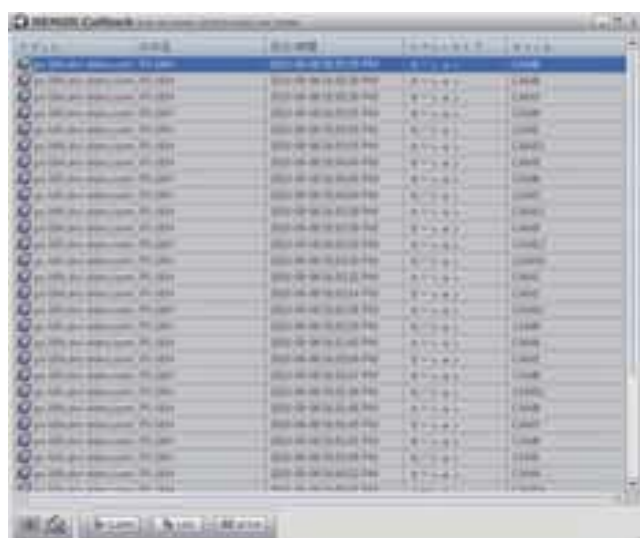
## 遠隔アップグレード

DVRのファームウエア アップグレードをNemonプログラムですることができます。

・ をクリックして、 遠隔設定を選択すると遠隔設定メニューに入ります。
・設定メニューが現れて、「システム ； 情報」を選択 します。
・アップグレードをクリックすれば、 アップグレードするソフトウェアバージョンを探します。
・ファイル位置とアップグレードするファイルを選択します。

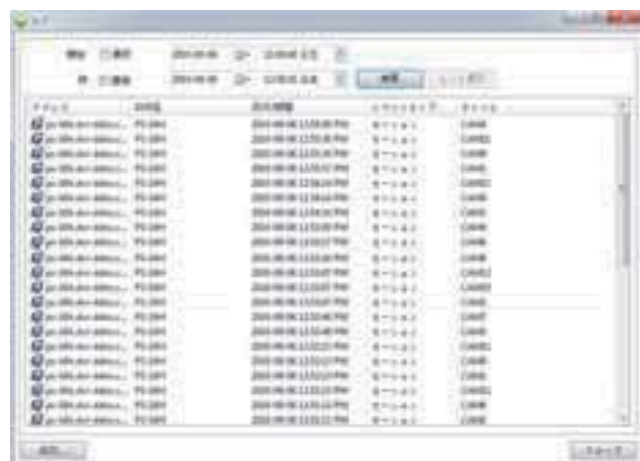
**注意： システムアップグレードが完了するまで、 PC の電源を切らないようにお願いします。**

# 遠隔監視ソフトの利用方法

## Nemon Callback2

遠隔DVRで発生したイベントを受信して監視します。
C:\Program Files\Nemon2 の中にある [NemonCallback2.exe] を起動します。

Nemon Callback アイコンが PC 右下のタスクバーに
表示されます。

Nemon Callback アイコンをクリックすると Callback 画面が
表示され、メッセージを見ることができます。

CLEAR: ログを削除します。

リストのログを選択して、左下の監視または、再
生アイコンボタンを押すと、該当DVRの監視画面
または、再生画面を見ることができます。

LOG: 最大100,000個のログを保存することができ
ます。 検索時、1,000個のログが表示されて、「もっ
と表示」をクリックすれば、次の1,000個のログが表
示されます。
「出力」ボタンは検索になったログを txt or csv
形式で保存します。

**設定**: コールバック ポートが設定できます。「システム起動時にコールバ
ックを起動」を設定すれば、Windows起動時に自動でコールバック プログ
ラムが実行されます。
(Default Port: UDP 10110)

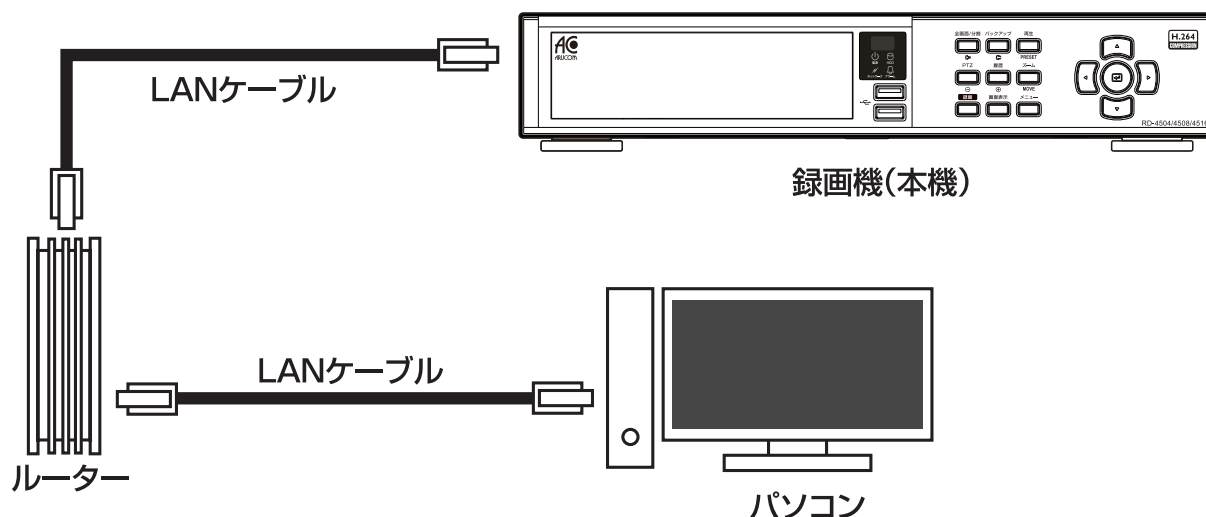
# ネットワーク設定

## ※ネットワーク設定の前に必ず本機をインターネットに接続してください。

LANケーブルを使ってルーターと録画機（本機）、ルーターとパソコンを接続してください。

| 遠隔地にあるパソコンから遠隔監視をする場合はルーターのポート開放が必要になります。<br>ポート開放の方法についてはご使用のルーターのメーカーにお問合せください。 |
|---|

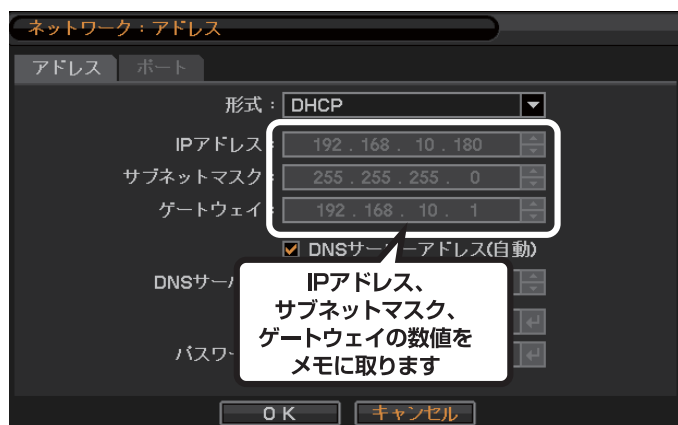
ホームページにあるネットワーク設定の手順も合わせて参考にしてください

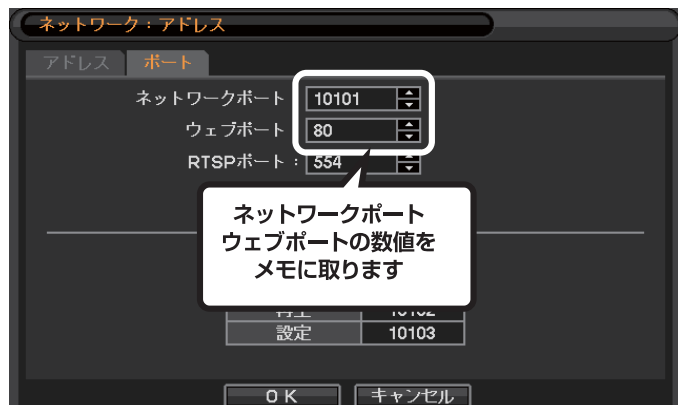
http://www.arucom.ne.jp/4504

# インターネットブラウザを利用した遠隔監視

このDVRは遠隔接続ソフトウェアがなくても、ウェブ ブラウザーを使用して接続ができます。
※マイクロソフト社のインターネット エクスプローラのみ対応です。

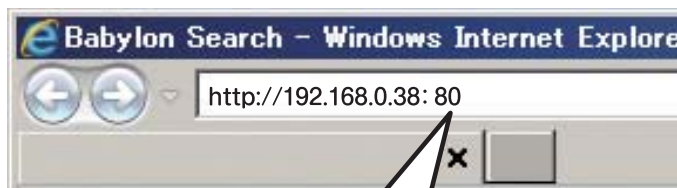
画面を右クリックして“メニュー設定”→“ネットワーク内アドレス” を左クリックすると「ネットワーク設定」の詳細画面が表示されます。リモコンの場合はメニューボタンを押して、メインメニューからネットワーク設定アイコンを“決定” ボタンで選択してください。

メインメニュー画面

ネットワーク設定画面

表示されている“IPアドレス”“サブネットマスク”“ゲートウェイ”の数値をメモに取っておきます。
左の画像の例
IPアドレス：192.168.10.180
サブネットマスク：255.255.255.0
ゲートウェイ：192.168.10.1

**画像の数値とお使いの録画機の数値は異なります。必ずお使いの録画機の数値をメモに取ってください。**

表示されている“ネットワークポート”“ウェブポート”の数値ををメモに取っておきます。
左の画像の例
ネットワークポート：10101
ウェブポート：80

**画像の数値とお使いの録画機の数値は異なります。必ずお使いの録画機の数値をメモに取ってください。**

# インターネットブラウザを利用した遠隔監視

インターネットエクスプローラー

④ インターネットエクスプローラーに入力

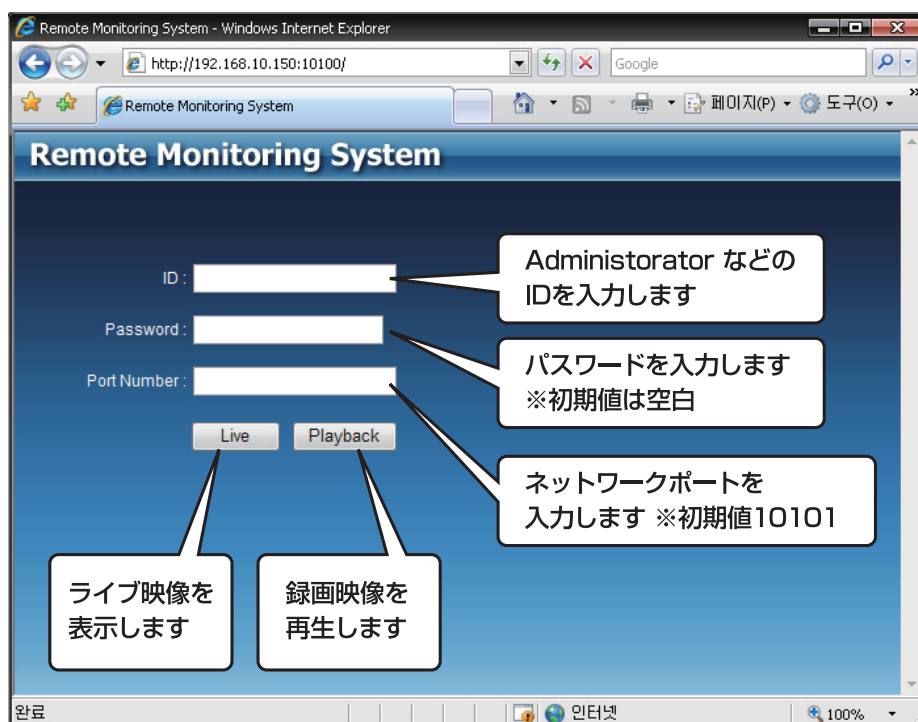
メモを取った"IPアドレス"を監視に使うパソコンのインターネットエクスプローラーのアドレスバーに入力して、末尾にコロン(:)+ポート番号を入力して"リターン"を押すとページが表示されます。

例）http://192．168．0．38：7000

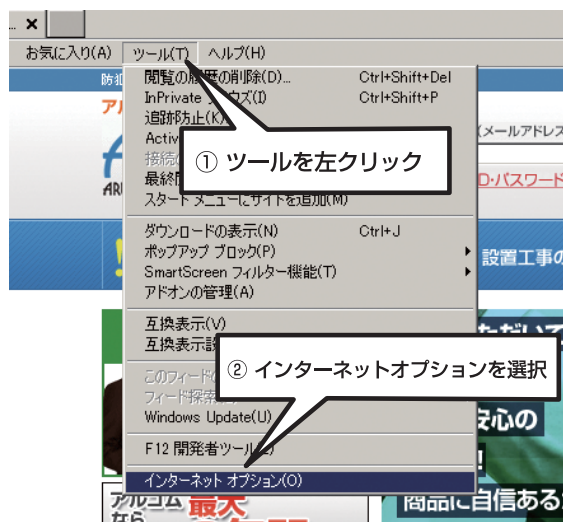
**ポート番号についてはP.39の"ポート"を参考にしてください。**
**※初期値: 80**

**映像が表示されないときは・・・**

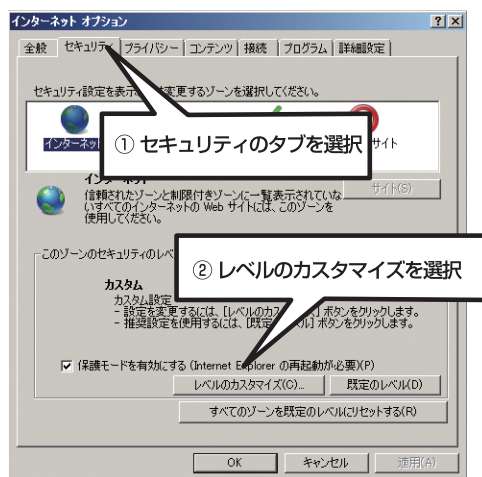
プラグインのインストールやアドオンのインストールのメッセージが表示された場合は"はい"もしくは"許可する"を選択してください。

エラーメッセージが表示され、映像が表示されない場合はActive Xの設定を確認してください。(P.81)

注意: ウェブ接続機能はインターネット エクスプローラ 7.0以上に対応しています。

# インターネットブラウザを利用した遠隔監視 ActiveXの設定

Active Xの設定を変更していないと映像が表示されない場合があります。遠隔監視の設定の前に設定の確認をしてください。

## ① インターネットオプションを開く

パソコンでインターネットエクスプローラーを開きます。
※新しいバージョンを利用してください。

「ツール」メニューから「インターネットオプション」を選択します。

## ② セキュリティの画面を開きます

インターネットオプションウインドウが表示されたら、「セキュリティ」タブをクリックしてウインドウを切り替えて、画面下部「レベルのカスタマイズ」をクリックします。

## ③ Active Xの項目を確認変更する

■ "ActiveXコントロールとプラグインの実行" の項目を "有効にする" に設定します。

■ "スクリプトを実行しても安全だとマークされていないActiveXコントロールの初期化とスクリプトの実行" の項目を "ダイアログを表示する" に設定します。

■ "未署名のActiveXコントロールのダウンロード" の項目を "ダイアログを表示する" に設定します

# 遠隔監視ソフトの利用方法 iPhone/iPad

iPhone/iPad から遠隔監視を行うことができます。

メモ 事前に「ネットワーク」の設定を行う必要があります。
P.39 を参照

## 初期設定

1.iPhone/iPad のホーム画面を開き、App Store にアクセスします。

2.検索バーに【iMon2】と入力して検索します。

3、下の画面が開いたら、【無料】のアイコン選択し、『 インストール 』をタップしてダウンロードします。

4、Apple ID パスワード入力画面が出てきますので、お客様の Apple ID とパスワードを入力して OK をタップすると、ダウンロードが開始し、ホーム画面に【iMon2】が追加されます。

## 設定方法

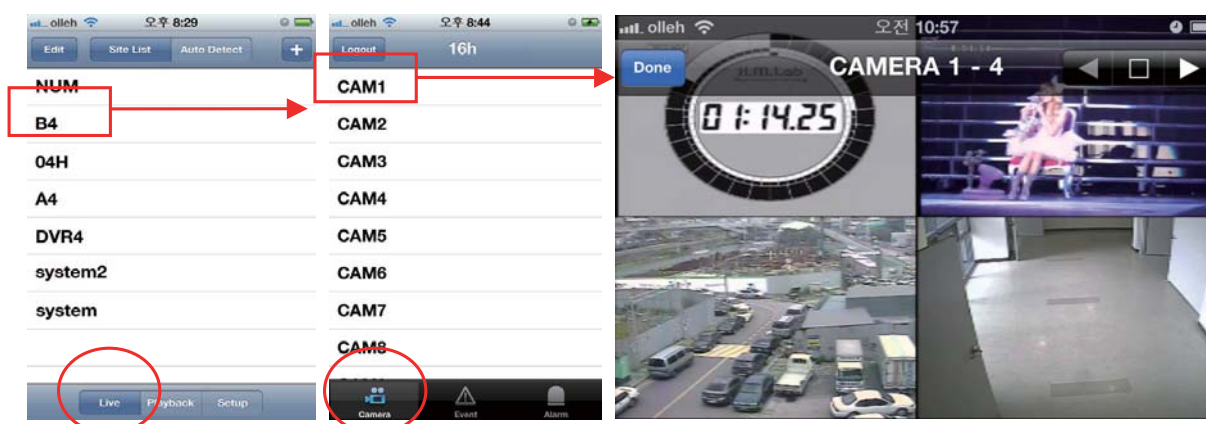
1、【iMon2】アイコンをタップして起動します。

2、右上の【+】をタップして、DVR の情報を入力します。

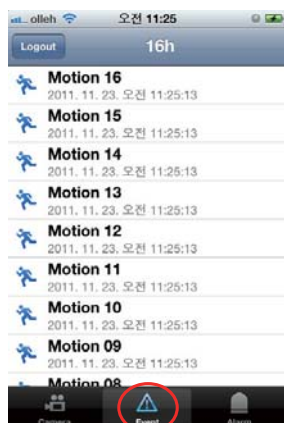
Name: DVR名
Address: DVRアドレス( IP もしくは、DDNSアドレス)
Port: DVRのネットワークのライブポートを入力してください。(初期値: ネットワーク ポート: 10101)
Auto Login: On/Off
User Name: DVRで設定したユーザー名
Password: DVRユーザーのパスワード

入力した後、「Done」ボタンを押すと、登録されます。

# 遠隔監視ソフトの利用方法 iPhone/iPad

**遠隔ライブ**: 遠隔監視モードに転換します。

Camera: 画面下のCameraを選択すると、カメラのリストが出て、選択したカメラの映像が表示されます。

EVENT

画面下のEventを選択すると、イベントリストが表示されます。

ALARM

画面の下のAlarmを選択すると、アラームが表示されます。

SETUP

DVRの設定をする方法はDVRでの設定と同じです。
設定方法は「DVR 設定」をご参考ください。

# 遠隔監視ソフトの利用方法 iPhone/iPad

**遠隔再生**: 遠隔再生モードに転換します。

**カレンダ検索、イベント検索**: 遠隔再生モードで、該当の映像を検索します。

# 遠隔監視ソフトの利用方法　Android

Android 携帯端末から遠隔監視を行えます。
**※すべての機種に対応はしていません。**

メモ　事前に「ネットワーク」の設定を行う必要があります。
P.39 を参照

## 初期設定

1. スマートフォンのホーム画面を開き、マーケットにアクセスします。

2. 検索バーに【iMon2】と入力して検索します。

2. 下の画面が開いたら【iMon2】をタップします。

3、下の画面が表示されたら、『 無料 』ボタンをタップしてアプリをダウンロードします。

4、ダウンロードが完了すると、ホーム画面に【iMon2】が追加されます。

iMon2

## 設定方法

1、【iMon2】アイコンをタップして起動します。

2、サブメニューを開き【+Add】をタップします。

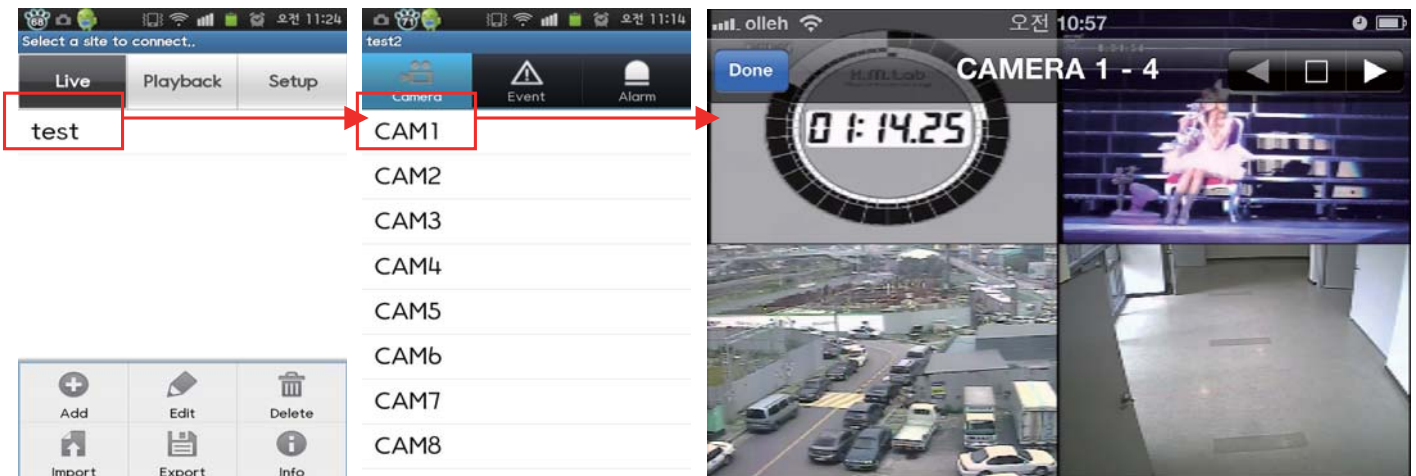
3、DVR の情報を入力します。

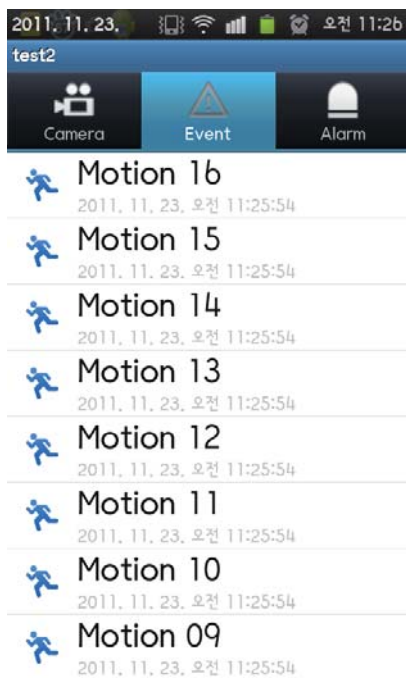
Add..
Name :
Address :
○○○.□□□.○○○.□□□
Port :
10101
Auto Login
Username :
Add　Cancel

Name: DVR名
Address: DVRアドレス( IP もしくは、DDNSアドレス)
Port: DVRのネットワークのライブポートを入力してください。(初期値: ネットワーク ポート: 10101)
Auto Login: On/Off
User Name: DVRで設定したユーザー名
Password: DVRユーザーのパスワード

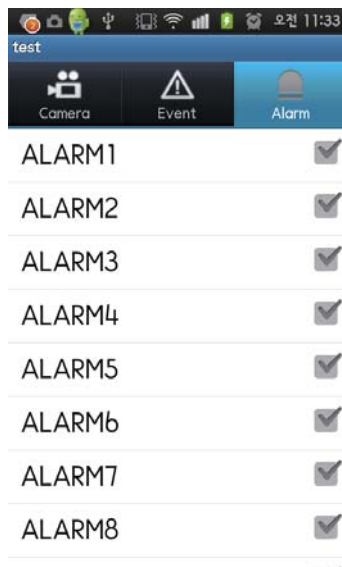
入力した後、「Add」ボタンを押すと、登録されます。

# 遠隔監視ソフトの利用方法　Android

**遠隔ライブ**: 遠隔監視モードに転換します。

**Camera**: カメラのListから監視するカメラを選択すると、ライブの映像が見えます。

登録された遠隔DVRをタップすると、そのDVRのカメラListが現れます。
監視したいカメラ番号をもう一度、タップすると、そのカメラの映像が出ます。

**Event**

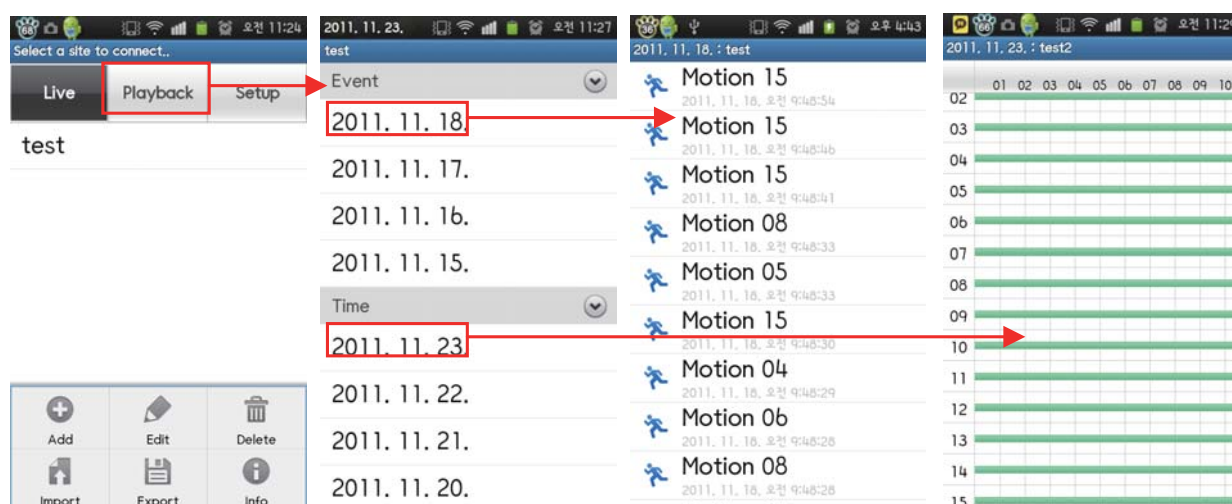
接続されたDVRで発生したEventをリアルタイムで確認できます。

# 遠隔監視ソフトの利用方法　Android

**Alarm**

接続された DVR のアラーム出力を制御して、連結された装置が制御できます。

**Setup**

DVRの設定を確認、変更が出来ます。

**遠隔再生**:  遠隔再生モードに転換します。

**カレンダ検索、イベント検索**:  遠隔再生モードで、該当の映像を検索します。

# 録画時間目安表 4ch 500GB

| 解像度 | 録画解像度：720×480 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 画質 | 最高 | | 高 | | 標準 | | 中 | |
| コマ数※ | 時間 | 録画日数 | 時間 | 録画日数 | 時間 | 録画日数 | 時間 | 録画日数 |
| 30 | ー | ー | ー | ー | ー | ー | ー | ー |
| 15 | 59.45 | 2.5 | 96.45 | 4.0 | 140 | 5.8 | 180.9 | 7.5 |
| 7 | 117.3 | 4.9 | 173.6 | 7.2 | 228.5 | 9.5 | 271.3 | 11.3 |
| 4 | 184.7 | 7.7 | 248 | 10.3 | 299.4 | 12.5 | 333.9 | 13.9 |

※カメラ１台あたりのコマ数

| 解像度 | 録画解像度：720×240 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 画質 | 最高 | | 高 | | 標準 | | 中 | |
| コマ数※ | 時間 | 録画日数 | 時間 | 録画日数 | 時間 | 録画日数 | 時間 | 録画日数 |
| 30 | 61.8 | 2.6 | 105.2 | 4.4 | 162.3 | 6.8 | 222.6 | 9.3 |
| 15 | 118.9 | 5.0 | 192.9 | 8.0 | 280 | 11.7 | 361.7 | 15.1 |
| 7 | 234.6 | 9.8 | 347.2 | 14.5 | 456.9 | 19.0 | 542.6 | 22.6 |
| 4 | 369.4 | 15.4 | 496.1 | 20.7 | 598.7 | 24.9 | 667.8 | 27.8 |

※カメラ１台あたりのコマ数

| 解像度 | 録画解像度：360×240 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 画質 | 最高 | | 高 | | 標準 | | 中 | |
| コマ数※ | 時間 | 録画日数 | 時間 | 録画日数 | 時間 | 録画日数 | 時間 | 録画日数 |
| 30 | 123.6 | 5.1 | 210.5 | 8.8 | 324.5 | 13.5 | 445.2 | 18.5 |
| 15 | 237.8 | 9.9 | 385.8 | 16.1 | 560.1 | 23.3 | 723.4 | 30.1 |
| 7 | 469.2 | 19.6 | 694.5 | 28.9 | 913.8 | 38.1 | 1085 | 45.2 |
| 4 | 738.8 | 30.8 | 992.1 | 41.3 | 1197 | 49.9 | 1335 | 55.6 |

※カメラ１台あたりのコマ数

※1TB、2TB、4TBの場合、上記の時間×2、×4、×8で計算します。
※録画時間目安表は、録画できる時間を保証するものではなく目安を記載したものとなります。
スケジュール録画･モーション録画などの録画設定及び、その他環境よって増減する場合があります。

# 録画時間目安表 8ch 500GB

| 解像度 | 録画解像度：720×480 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 画質 | 最高 | | 高 | | 標準 | | 中 | |
| コマ数※ | 時間 | 録画日数 | 時間 | 録画日数 | 時間 | 録画日数 | 時間 | 録画日数 |
| 30 | ー | ー | ー | ー | ー | ー | ー | ー |
| 15 | 29.75 | 1.2 | 48.25 | 2.0 | 70 | 2.9 | 90.4 | 3.8 |
| 7 | 58.65 | 2.4 | 86.8 | 3.6 | 114.2 | 4.8 | 135.7 | 5.7 |
| 4 | 92.35 | 3.8 | 124 | 5.2 | 149.7 | 6.2 | 170 | 7.1 |

※カメラ１台あたりのコマ数

| 解像度 | 録画解像度：720×240 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 画質 | 最高 | | 高 | | 標準 | | 中 | |
| コマ数※ | 時間 | 録画日数 | 時間 | 録画日数 | 時間 | 録画日数 | 時間 | 録画日数 |
| 30 | 30.9 | 1.3 | 52.6 | 2.2 | 81.15 | 3.4 | 111.3 | 4.6 |
| 15 | 59.45 | 2.5 | 96.45 | 4.0 | 140 | 5.8 | 180.9 | 7.5 |
| 7 | 117.3 | 4.9 | 173.6 | 7.2 | 228.5 | 9.5 | 271.3 | 11.3 |
| 4 | 184.7 | 7.7 | 248 | 10.3 | 299.4 | 12.5 | 333.9 | 13.9 |

※カメラ１台あたりのコマ数

| 解像度 | 録画解像度：360×240 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 画質 | 最高 | | 高 | | 標準 | | 中 | |
| コマ数※ | 時間 | 録画日数 | 時間 | 録画日数 | 時間 | 録画日数 | 時間 | 録画日数 |
| 30 | 61.8 | 2.6 | 105.2 | 4.4 | 162.3 | 6.8 | 222.6 | 9.3 |
| 15 | 118.9 | 5.0 | 192.9 | 8.0 | 280 | 11.7 | 361.7 | 15.1 |
| 7 | 234.6 | 9.8 | 347.2 | 14.5 | 456.9 | 19.0 | 542.6 | 22.6 |
| 4 | 369.4 | 15.4 | 496.1 | 20.7 | 598.7 | 24.9 | 667.8 | 27.8 |

※カメラ１台あたりのコマ数

※1TB、2TB、4TBの場合、上記の時間×2、×4、×8で計算します。
※録画時間目安表は、録画できる時間を保証するものではなく目安を記載したものとなります。
スケジュール録画･モーション録画などの録画設定及び、その他環境よって増減する場合があります。

# 録画時間目安表 16ch 500GB

| 解像度 | 録画解像度：720×480 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 画質 | 最高 | | 高 | | 標準 | | 中 | |
| コマ数※ | 時間 | 録画日数 | 時間 | 録画日数 | 時間 | 録画日数 | 時間 | 録画日数 |
| 30 | ー | ー | ー | ー | ー | ー | ー | ー |
| 15 | ー | ー | ー | ー | ー | ー | ー | ー |
| 7 | 29.35 | 1.2 | 43.4 | 1.8 | 57.1 | 2.4 | 67.8 | 2.8 |
| 4 | 46.15 | 1.9 | 62 | 2.6 | 74.85 | 3.1 | 83.45 | 3.5 |

※カメラ１台あたりのコマ数

| 解像度 | 録画解像度：720×240 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 画質 | 最高 | | 高 | | 標準 | | 中 | |
| コマ数※ | 時間 | 録画日数 | 時間 | 録画日数 | 時間 | 録画日数 | 時間 | 録画日数 |
| 30 | ー | ー | ー | ー | ー | ー | ー | ー |
| 15 | 29.75 | 1.2 | 48.25 | 2.0 | 70 | 2.9 | 90.4 | 3.8 |
| 7 | 58.65 | 2.4 | 86.8 | 3.6 | 114.2 | 4.8 | 135.7 | 5.7 |
| 4 | 92.35 | 3.8 | 124 | 5.2 | 149.7 | 6.2 | 167 | 7.0 |

※カメラ１台あたりのコマ数

| 解像度 | 録画解像度：360×240 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 画質 | 最高 | | 高 | | 標準 | | 中 | |
| コマ数※ | 時間 | 録画日数 | 時間 | 録画日数 | 時間 | 録画日数 | 時間 | 録画日数 |
| 30 | 30.9 | 1.3 | 52.6 | 2.2 | 81.15 | 3.4 | 111.3 | 4.6 |
| 15 | 59.45 | 2.5 | 96.45 | 4.0 | 140 | 5.8 | 180.9 | 7.5 |
| 7 | 117.3 | 4.9 | 173.6 | 7.2 | 228.5 | 9.5 | 271.3 | 11.3 |
| 4 | 184.7 | 7.7 | 248 | 10.3 | 299.4 | 12.5 | 333.9 | 13.9 |

※カメラ１台あたりのコマ数

※1TB、2TB、4TBの場合、上記の時間×2、×4、×8で計算します。
※録画時間目安表は、録画できる時間を保証するものではなく目安を記載したものとなります。
スケジュール録画･モーション録画などの録画設定及び、その他環境よって増減する場合があります。

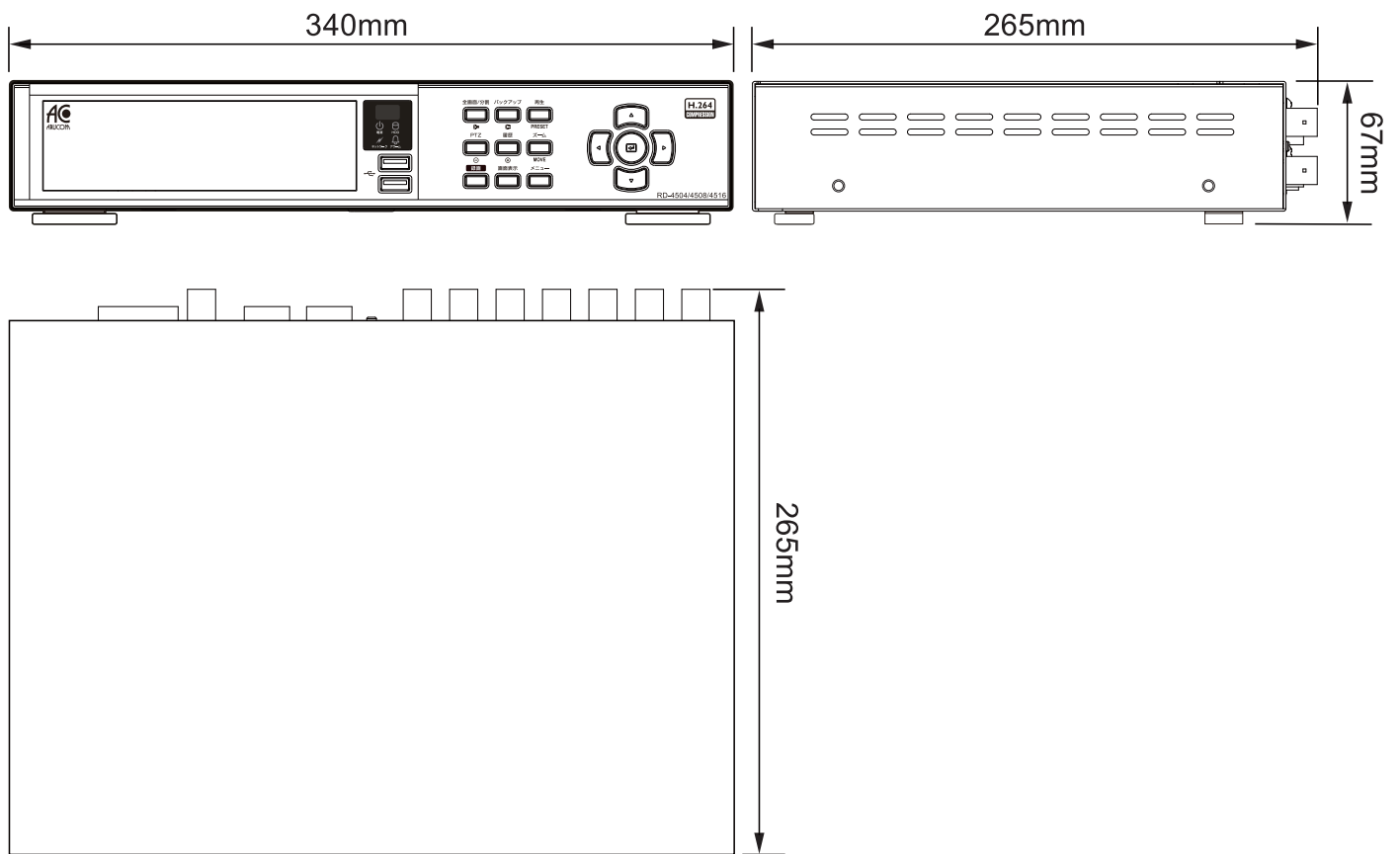
# 製品仕様

| モデル(HDD容量) | | PF-R4504(500GB)<br>PF-R4505(1000GB)<br>PF-R4506(2000GB)<br>PF-R4507(4000GB) | PF-R4508(500GB)<br>PF-R4509(1000GB)<br>PF-R4510(2000GB)<br>PF-R4511(4000GB) | PF-R4516(500GB)<br>PF-R4517(1000GB)<br>PF-R4518(2000GB)<br>PF-R4519(4000GB) |
|---|---|---|---|---|
| 映像 | 入力 | 4 BNC | 8 BNC | 16 BNC |
| | 出力 | 1VGA, 1CVBS (Dual Display) | | |
| | ループ出力 | X | 8ch (Option-Cable) | 16ch(Option-Cable) |
| 音声 | 入力 | 4 RCA (4ライン 入力) | 8 Octopus (8ライン 入力) | |
| | 出力 | 1 RCA (ライン 出力) | | |
| デバイス | センサー 入力 | 4 TTL, (3 TTL + 緊急録画用トリガー専用×1) | | |
| | アラーム 出力 | 2 TTL | | |
| | I/Oインターフェース | RS232, RS485, USB2.0 x 2, | | |
| ディスプレイ | 解像度 | 800 x 600 | | |
| | 画面分割 | 1,4,PIP,<br>デジタルズーム<br>(x1,2,4,8) | 1,4,9,PIP,<br>デジタルズーム<br>(x1,2,4,8) | 1,4,9,13,16,PIP,<br>デジタルズーム<br>(x1,2,4,8) |
| 録画 | 圧縮 | H.264 | | |
| | 記録解像度<br>及び最大コマ数 | 720×480 (最大60コマ)<br>720×240 (最大120コマ)<br>360×240 (最大120コマ) | 720×480 (最大120コマ)<br>720×240 (最大240コマ)<br>360×240 (最大240コマ) | 720×480 (最大120コマ)<br>720×240 (最大240コマ)<br>360×240 (最大480コマ) |
| | 画質 | 最高、 高、 標準、 中 | | |
| | モード | 連続、 イベント、 連続 & イベント、 緊急録画 | | |
| 再生 | ディスプレィ | 1,4, デジタル ズーム<br>(x1,2,4,8) | 1,4,9 デジタルズーム<br>(x1,2,4,8) | 1,4,9,13,16,<br>デジタルズーム<br>(x1,2,4,8) |
| | 検索 モード | カレンダー、 イベント、 時間指定、テキスト検索 | | |
| | 再生 モード | 再生 & 逆再生 RW & FF ( x2、 x4、 x8、 x16、 x32)、コマ送り、停止 | | |
| ネットワーク | インターフェース | 10BASE-T/100BASE-TX | | |
| | プロトコル | TCP/IP, HTTP, DHCP, uPNP, DDNS | | |
| | アプリケーション | ライブ、 再生、 設定、 遠隔、 通知 (Call back、 E-mail)、PFRM | | |
| | 対応OS | Windows xp以降 / iPhone / iPad / iPod touch / Android / Black Berry | | |
| バックアップ | | USBフラッシュメモリ・外付けHDD | | |
| オペレーション | | 前面パネルボタン、リモコン、USBマウス | | |
| 外部寸法 | | 約340(幅)×67(高)×265(奥行)mm | | |
| 重量 | | 約2kg(HDD未装着時) | | |
| 動作環境温度 / 湿度 | | 5℃~40℃ / 80%未満 ※結露無きこと | | |
| 消費電力 / 電圧 | | DC12V、3.33A / 最大40W | | |
| 付属品 | | 取扱説明書・ACアダプター・リモコン・CD-ROM | | |

340mm

265mm

67mm

265mm

# 故障かな?と思ったら

| 症状 | 原因 | 処置のしかた |
|---|---|---|
| 電源が入らない | 電源コンセントからはずれている | 確実にコンセントに差し込む |
| モニタに映像が出ない | 接続がまちがっている | 正しく接続する |
| | 周辺機器やモニタの電源が入っていない | 電源を入れる |
| リモコンを押しても動作しない | 電池がなくなっている | 電池を新しいものに変える |
| 記録できない | 記録領域が一杯になっている | データを削除する |
| | 上書き設定を「しない」に設定している | 録画設定内上書きを [ する ] に |
| タイマー記録ができない | 日付・時刻がまちがっている | 日付・時刻を正しく設定する |
| | タイマー記録設定が正しくない | タイマー記録の設定を正しくやり直す |
| モーション録画ができない | モーション設定が正しくない | 録画設定を正しくやり直す |
| 日付と時刻が表示しない | 操作表示部の表示を消している | システム設定内のディスプレイ設定を正しくやり直す |

■電源が瞬断した場合

録画スピードや時刻が変化することがありますが、これは異常ではありません。
また、再生は停止しますが録画は電源が復帰するとふたたび録画状態になります。

■システムダウン

もし、まったく動作しなくなったときは、次の手順で確認してください。
① 電源を入切する。
② ①を繰り返しおこなっても動作しないときは、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

# アフターサービスについて

この商品は「保証書」を別途添付しております。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

## ■保証について

正常な使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書記載内容により、お買い上げの販売店（または工事店）が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

●本機（ハードディスクデジタルレコーダー）が故障した場合、稼働していない時間に対する営業損失は補償対象外になります。

### 修理を依頼されるときは

下記の事項をお買い上げ販売店にご連絡ください。

① 故障の状況（できるだけくわしく）
② 品名と品番
（4chDVR RD-4504/RD-4505/RD-4506/RD-4507）
（8chDVR RD-4508/RD-4509/RD-4510/RD-4511）
（16chDVR RD-4516/RD-4517/RD-4518/RD-4519）
③ お買い上げ年月日（保証書に記入）
④ 製造番号（保証書に記入）
⑤ お名前、おところ、電話番号

## ■定期点検・保守について

特に監視用などでご使用の場合は、定期点検・保守の実施をおすすめします。
詳しくは、お買い上げ販売店（または工事店）にご相談ください。

## ■商品購入後のお問合せについて

**商品サポート専用フリーダイアル**

**0120-366-333**

平日9：00～18：00　土曜日9：00～17：00